

●モノグラフ小学生ナウ



こづかい

vol.4-10

©1985(株)福武書店 教育研究所/加藤智穂・和田京子・田中英幸
放送大学教授 深谷昌志・大阪府豊能郡豊能町立東ときわ台小学校教諭 湯井康二

目次

特集／現代っ子の金銭観	2
調査レポート／こづかい	
要約と提言	6
1. こづかいをめぐって	8
● こづかいの額と希望	8
● こづかいの使いみち	12
2. 子どもの金銭感覚	16
● 値段についての感覚	16
● 友だちとのお金の貸し借り	17
● 金銭の重み	20
● 金銭的なしつけ	22
まとめに代えて	26
シリーズ／講座・子ども調査入門⑩	
作表や作図の心得	28
資料1 調査票見本	34
資料2 学年・性別集計表	40

特集

現代っ子の金銭観

放送大学教授 深谷昌志



消費者としての子ども

子どもたちの身の回りにあるものを金銭に換算したら、いくらぐらいになるのであろうか。子ども部屋といった巨額のものから、机や本箱、学習百科、そしてセーターに靴下などと加算していくと、1千万円単位の話となろう。しかもその上に、毎月、なにか新しいものが加わっていく。このほかに、けいこごとや学習塾の月謝、学用品、キャンディなどを買うお金……と考えていくと、子どもたち

がお金に囲まれて暮らしており、しかも毎日のように、お金を使っているのがわかる。

そうした形で、子どもたちは知らず知らず金銭を費やしてはいくが、そうした反面、自分の手で金銭を手にした体験をもっていない。特に、現在では、高校生でも、たてまえ上はアルバイトを禁止されているので、なんらかの形で子どもたちが収入を得はじめるのは、高校卒業以降となる。もっとも、その時期でも、若者は親がかりの生活を送っているので、大学生はむろんのこと、高校を卒業して就職した者にとっても、その収入に対して、こづ

かい銭といった感覚がつかまとう。

アメリカの大学生たちは、夏休みになると、学費を稼ぐために働きはじめる。どんなに富裕な家庭の子どもでも、学費を自分でまかなうのがカレッジ・ライフの常識である。それに反し、日本の大学生の中で、自分の力で学費をまかなっている者は、きわめて少数例に属そう。

そう考えていくと、現代の子どもたちが、成人するまで、金銭の使い手、つまり、消費者として生活しているのがわかる。しかも、家庭の生活そのものが、全体としてみると、豊かになってきているので、子どもたちは、金銭の不足を気にかけることなく、消費してゆく。家庭の中に金のなる木でもあるかのように入ったとしても、無理からぬ気がする。

子どもは働いていた

しかし、子どもの歴史を調べると、子どもたちが消費者として育つのが、ごく近年の現象であるのがわかる。

このところ、子どもの生活史に関心をもち、暇をみつければ、資料集めを行っている。先日、「文部省年報」に目を通して見ると、つぎのような文面があった。これは、文部省大書記官九鬼隆一が、明治9年に、各地区を視察したときの報告書の一節だが、

「年甫メテ六、七才ニ及ベバ父母外ニ出ヅル時ハ留リテ内ヲ守リ、外ニハ兄ヲ負ヒ草ヲ刈リ或ハ牛ヲ牧シ馬ニ秣ヒ、山ニ田ニ樵耕ノ業ヲ助ケ、内ニハ草鞋ヲ造リ、繩索ヲ綯ヒ、時アリテハ使价ニ走り、或ハ、物ヲ負担シテコレヲ商フ」

とある。就学を督促しても、子どもたちが、学校に来ないのにはそれなりの理由があるという指摘である。

このように、現在では、ごくあたりまえの就学という慣習が定着するのに障害となったのは、子どもたちが就労をしている事実であ

った。しかも、就学と就労との相克は、明治初年に限らず、かなり後まで続いている。

例えば、横山源之助の「日本の下層社会」や農商務省の「職事情」など、明治30年代の労働条件を分析した資料には、10歳未満の幼年工を含めての年少労働が広く存在していた事実が盛り込まれている。そのため、明治31年の工場法制定案の中にも、「九条 十才未満ノ幼者ノ工場ニ於テ使役スルコトヲ得ズ。但特別ノ事由アル工場に付テハ命令ヲ以テ本条ノ例外ヲ設クルコトヲ得」の条文が見られる。工場法は、50人以上の職工をかかえる工場を対象としているため、それ以下の企業は規制の枠外となる。そうしたゆるやかな年少労働の禁止処置でも、但し書が必要なほど、働く子どもたちが多かったのである。

工場法が都市の問題とするなら、同じ時期に、山村では、子守学校を設立する動きが見られる。これは、子守りのために、就学できない子どもを対象として、放課後1～2時間の授業を行う試みで、長野県の信濃教育会などでは、明治31年に取調委員を任命して、本格的に子守学校作りに乗り出す気運が生じている。

もちろん、これらは、明治時代の出来事で、



表1 子どもの生活時間

(昭和10年代後半)

平 日	農 村	都市山手	都市下町
睡 眠	時間 分 8・43	時間 分 8・51	時間 分 9・15
学 校 生 活	8・26	6・43	6・29
予 習 復 習	0・44	1・30	0・40
読 書	0・30	0・30	0・27
家の手伝い	1・31	0・49	1・16
遊 び	0・45	1・19	1・27
ラ ジ オ	0・19	0・25	0・24
映 画	0	0	0・04
少年団行事	0・45	0	0

(牛島義友「農村児童の心理」(巖松堂) 昭22 p.121より)

さすが、大正時代に入ると、学齡児童の就労そのものは、影をひそめ始める。しかし、納豆売りや新聞配達、あるいは、家業の手伝いなどで働く子どもたちは少なくなかったといわれる。

昭和10年代の資料になるが、牛島義友の「農村児童の心理」の中に、表1のような資料が含まれている。これは、当世風な言い方をすると、生活時間帯調査で、この結果によると、小学高学年生の「家の手伝い」は、平日で、都市山手の49分から農村の1時間31分となっており、これが、休日となると、都市山手1時間15分、農村3時間40分のような数値になる。なお、子どもたちの仕事内容の主なもの、庭掃き、水汲み、子守り、草刈り、お使いなどであった。

金銭を手にするしつけを

このようにみえてくると、子どもと生活と労働とが切っても切り離せない関係にあることがわかる。物心がついたら、それなりに働くのが、子どもの生活であった。そうした意味では、かつての子どもには、幼児とおとなの

時代とがあったが、子どもとしての季節はなかったといえよう。もちろん、そうした社会では、子どもが働いたとしても、たいした金額は期待できない。しかし、そのわずかな金のために働かなければならないのが、子どもであった。

日本の場合、子どもが労働から解放されたのは、ほぼ大正に入ってからであるから、長い子どもの歴史の中で、たかだか半世紀少しを経たにすぎない。しかも、表1に示した牛島の資料からも明らかのように、昭和に入っても、というより、昭和30年代に入るところまで、さまざまな形で、子どもが、家業や家事を手伝うのは、むしろ、あたりまえの光景であった。無着成恭のすぐれた実践記録「山びこ学校」は、視点を変えるなら、子どもたちの労働の記録でもある。

むしろ、幼い子どもたちが働く姿はいたいたしい。そうであるから、親たちは、子どもが働かなくともすむ時代をつくろうと努力を重ねてきた。そして、ほぼ20年ほど前に、そうした時代を迎えることができた。

いわゆる発展途上国を総合すると、6秒の間に、12人の子どもが産まれるが、そのうち、

2人は乳幼児期に死亡し、5人は小学校へ入学できず、残りの5人の中で、小学校を終了できるのは2人だけというデータもある。

そうした数値をあげるまでもなく、成田からほんの3-4時間、飛行機に乗り、香港やマニラの空港に降りたつと、働く子どもたちの姿を見かけるのは、よく知られた事実であろう。アジアの中で比較的豊かといわれるこれらの都市でも、今なお、学校に通えず、昼間から働く子どもが少なくない。

ユニセフの発表した1984年度版の「世界子供白書」(The State of the World's Children)は、子どものサイドから住み心地のよい社会を測る尺度として、乳児死亡率をあげているが、発展途上国の多くは、出生1千件に対する1歳未満の死亡率が100を超える。そして、日本は、スウェーデンやフィンランドとともに、1,000分の7で、世界でもっとも乳児の死亡率が低い。日本なりに考えると、

子どもたちが住みやすい状況とはいえないが、それでも、世界的な規模で見ると、栄養失調や伝染病などの恐怖から免れているだけで幸せ、と言うべきなのだろう。

しかし、日本の子どもたちは、労働から解放された生活をあたりまえと思い、それと同時に、金銭のある暮らしを当然と感じている。そして、すでにふれたとおり、金銭を得ることなしに、金銭の消費者として成長している。

こうした状況のもとでは、金銭を大事に使うことをいかに教えたとしても、しょせん消費者としての教育にすぎない。そうすると、アメリカの子どもが幼いうちから芝刈りやベビーシッターをして金銭を得ているように、社会全体の中で子どもが働き、それなりの収入を得る、そうした形で、金銭の値打ちを知らせるしつけが必要となったように思われてならない。



調査レポート／こづかい

放送大学教授 深谷 昌志

大阪府豊能郡豊能町立東ときわ台小学校教諭 湯井康二

要約

① こづかいの額

4年生が932円、5年生1,302円で、子どもたちは、月に1回まとめてもらっている(図1、図2)。



② 貯蓄の額

子どもたちは、平均して13万6千円の貯金をもっている(表2)。



③ お金が足りなくなったら

「ぜったいにくれない」家は27%で、52%の家では、理由がしっかりしていればお金を出してくれるという(図6)。



④ 値段の推定



子どもたちは、カメラ=5万8千円、テレビ=17万6千円など、おおむね正確な値段の推定を行っていた(表4)。

5 友とのお金の貸し借り

子どもたちは、「どんな少しでも、お金の貸し借りはしてはいけない。理由があっても、お金を貸したくないし、貸したら返してもらおう」とこたえている(図8、図9)。



6 道にお金が落ちていたら



5円まではそのまま捨てておき、100円までは自分のものにする。警察に届けるのは、500円からだという(図10)。

7 窓ふきなどのごほうび

「100円でもいいが、200~300円くれるとうれしい」と、子どもは思っている(図11)。



提言

こづかいが1ヵ月に1,000円程度。そして、道にお金が落ちていても、5円玉は捨てておき、100円玉は拾って使う。500円以上は警察に届ける。

これが、子どもたちの金銭感覚であった。そして、窓ふきなどをした時、200~300円く

らいのほうびがほしいという。なんとなくもっともな感じだが、子どもたちの間に、人のためにお金を使う感覚が抱かれていない。

貯めて、自分のために使うお金から、時としては自分で働き、人のために使う形に、お金の意味を変えていくことが必要であろう。

サンプル数 (人)

学年/性	男子	女子	計
4年	238	215	453
5年	320	309	629
6年	254	237	491
計	812	761	1,573

調査概要

対象●京都、奈良、大阪、兵庫の都市および郊外(含農村部)の小学校4、5、6年生

期間●昭和59年6月

方法●学校通しによる質問紙調査

1. こづかいをめぐる



数年前に、こづかいについての調査を行ったことがある。その時、こづかいの平均額は400円で、さすがに、現代の家庭らしく、金銭的なしつけがしっかりしていると思った。

しかし、念のためにおやつについてたずねてみると、調査したのが夏だったせいもあって、半数以上の子どもが、週に3～4回、50円玉や100円玉をもって、アイスクリームを買いに出かけていた。したがって、アイスクリーム代を入れると、子どもたちは、1,500円ちかくを、おやつに使っている計算になる。と

なると、400円のこづかいは、おやつとは別のお金となろう。さらに言えば、子どもたちは学用品代も、こづかいとは別にもらうのであろう。そうなるとうまます、こづかいは、子どもの使う金額のほんの一部にすぎなくなる。

このように考えてくると、ひとくちにこづかいと言っても、こづかいでまかなう範囲が問題で、それを離れて金額をたずねても、意味が少ないのかもしれない。しかし、そうしたことを考慮しつつ、以下、こづかいについての調査結果を紹介することにしよう。

こづかいの額と希望

1カ月のこづかいは図1のとおりで、4年生の900円から、5～6年生になると1,300円となる。もっとも、こづかいの額は400円以下から3,000円以上までと広がっており、上記の金額は、あくまで平均の額にすぎない。

なお、図2によると、こづかいのもらい方は「1カ月まとめて」がもっとも多く、小学4年生の48%から、小5=54%、小6=67%と増加している。

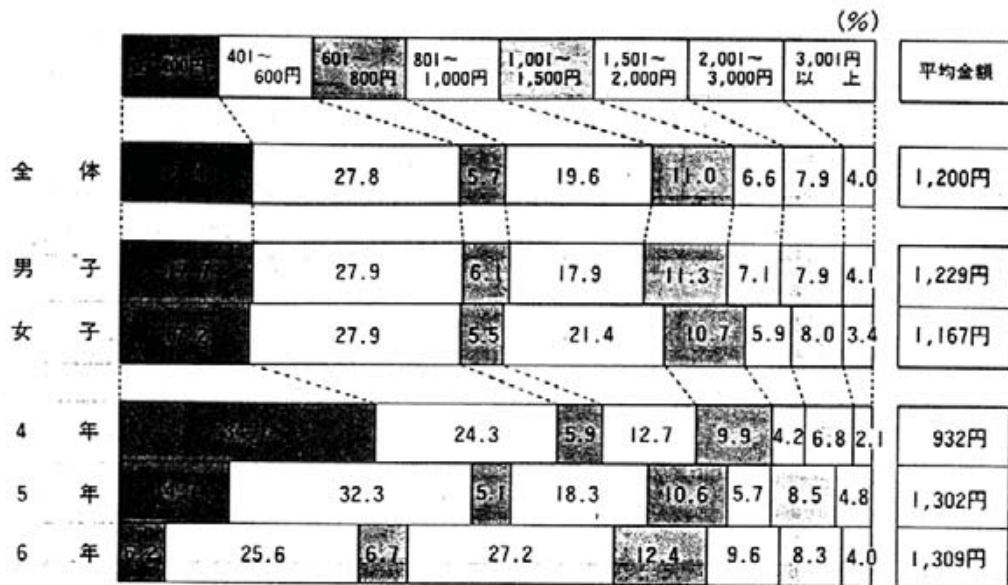
子どもとおとなの間で、時間の長さにつ

1. こづかいをめぐる

いての感覚は異なっていよう。したがって、子どもにとっての1か月は、おとなにとっての何か月にも相当する可能性が強い。となると、小学生のこづかいは、半月に1度くらいの割合が望ましいように思える。しかし、「今のようなもらい方になったのは」の問いに、

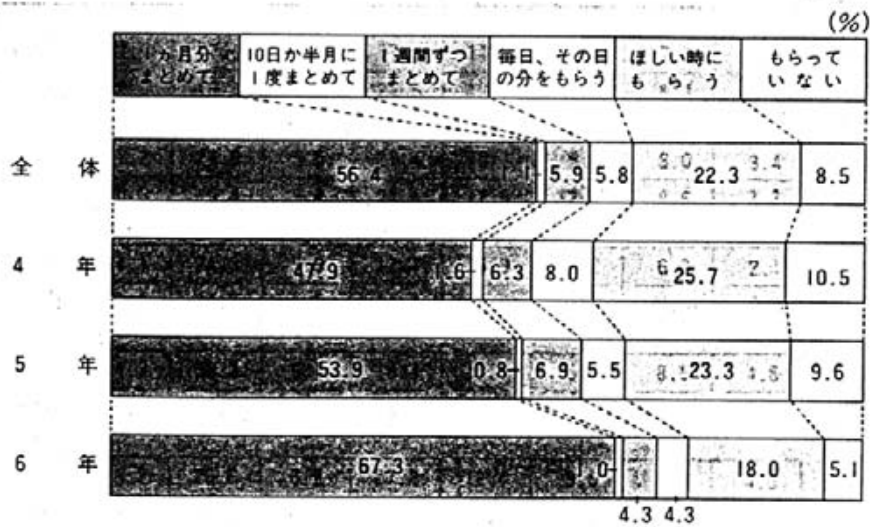
- | | | | |
|---|------------|-------|---------|
| ① | 小学校にあがる前から | 13.2% | } 43.7% |
| ② | 1年生から | 17.4% | |
| ③ | 2年生から | 13.1% | |
| ④ | 3年生から | 21.9% | } 56.3% |
| ⑤ | 4年生から | 19.0% | |
| ⑥ | 5、6年生から | 15.4% | |

図1・1か月のこづかい



注) 上記の数値は、こづかいの額をオープンアンサーでたずね、それを累計したもの。

図2・こづかいのもらい方



と、かなり低学年のうちから、今のようなもらい方をしているのがわかる。

このように子どもたちは大づかみにすると、1カ月単位で1,000円前後のこづかいを手に入れている。千円という額は、こづかいを使う内容にもよるが、少ないとも多いとも、いずれにも考えられる。

図3のように、子どもたちは現在の金額に半数ちかくが満足し、3割強の子どもが、不

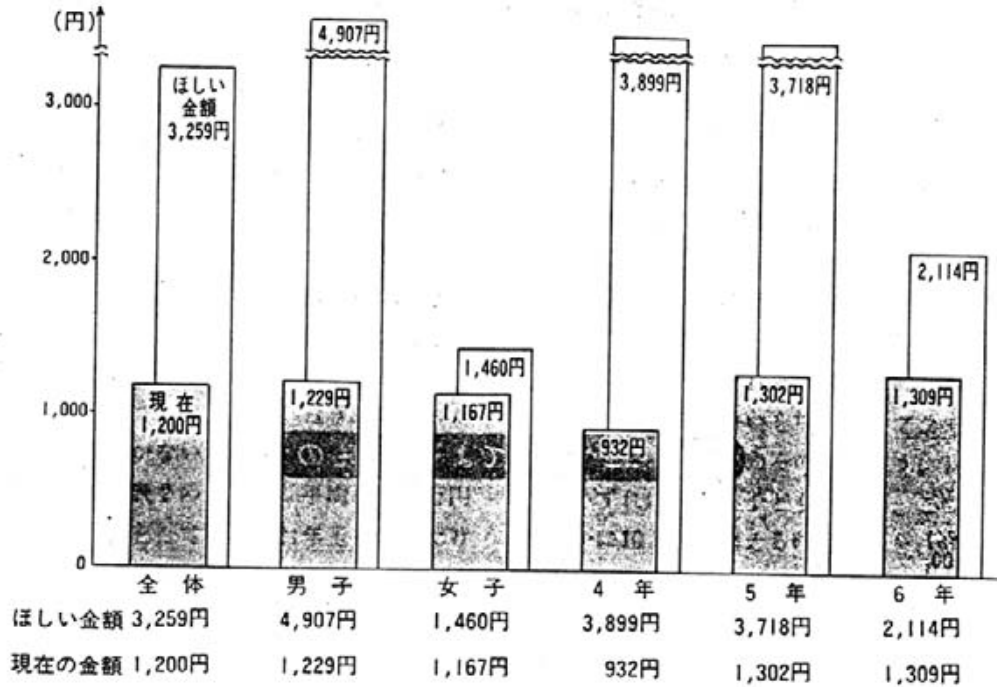
足していると感じている。

そこで、1カ月のこづかいの額と、ほしいこづかいの額とを対比させて示すと、図4および付表1のようになる。女子の場合、ほしいこづかいの額は1,460円と、実際のこづかい1,167円と比べると300円ちかくの差しかないのに、男子では4,907円と、実際もらっているこづかいとの間に3,700円もの開きがみられる。

図3・今の金額で足りているか

		(%)		
		足りない、少なすぎる	ちょうどいい	とてもわりとあまっている
全	体	31.2	46.6	22.2
男	子	38.2	43.3	18.5
女	子	23.5	50.3	26.2
4	年	26.8	50.8	22.4
5	年	28.6	49.0	22.4
6	年	38.3	40.0	21.7

図4・1カ月にほしいこづかい



付表1・1カ月のこづかい——現在の金額とほしい金額

	現在の金額 (円)								(平均金額) 現在の金額 ほしい金額	
	0~400円	401~600円	601~800円	801~1,000円	1,001~1,500円	1,501~2,000円	2,001~3,000円	3,001円以上		
全体	(%)									
	現在の額	17.4	27.8	5.7	19.6	11.0	6.6	7.9	4.0	1,200円
ほしい額	9.2	17.4	5.8	24.4	13.0	11.8	8.5	9.9	3,259円	
男子	現在の額	17.7	27.9	6.1	17.9	11.3	7.1	7.9	4.1	1,229円
	ほしい額	8.0	15.4	6.1	24.5	13.2	11.5	8.3	13.0	4,907円
女子	現在の額	17.2	27.9	5.5	21.4	10.7	5.9	8.0	3.4	1,167円
	ほしい額	10.3	19.4	5.4	24.4	12.5	12.1	8.6	7.3	1,460円
4年	現在の額	34.1	24.3	5.9	12.7	9.9	4.2	6.8	2.1	932円
	ほしい額	18.9	24.3	5.5	21.7	10.0	7.1	5.3	7.2	3,899円
5年	現在の額	14.7	32.3	5.1	18.3	10.6	5.7	8.5	4.8	1,302円
	ほしい額	6.5	17.5	5.5	26.8	13.2	12.1	7.9	10.5	3,718円
6年	現在の額	6.2	25.6	6.7	27.2	12.4	9.6	8.3	4.0	1,309円
	ほしい額	3.6	10.9	6.4	24.0	15.1	15.6	12.0	12.4	2,114円

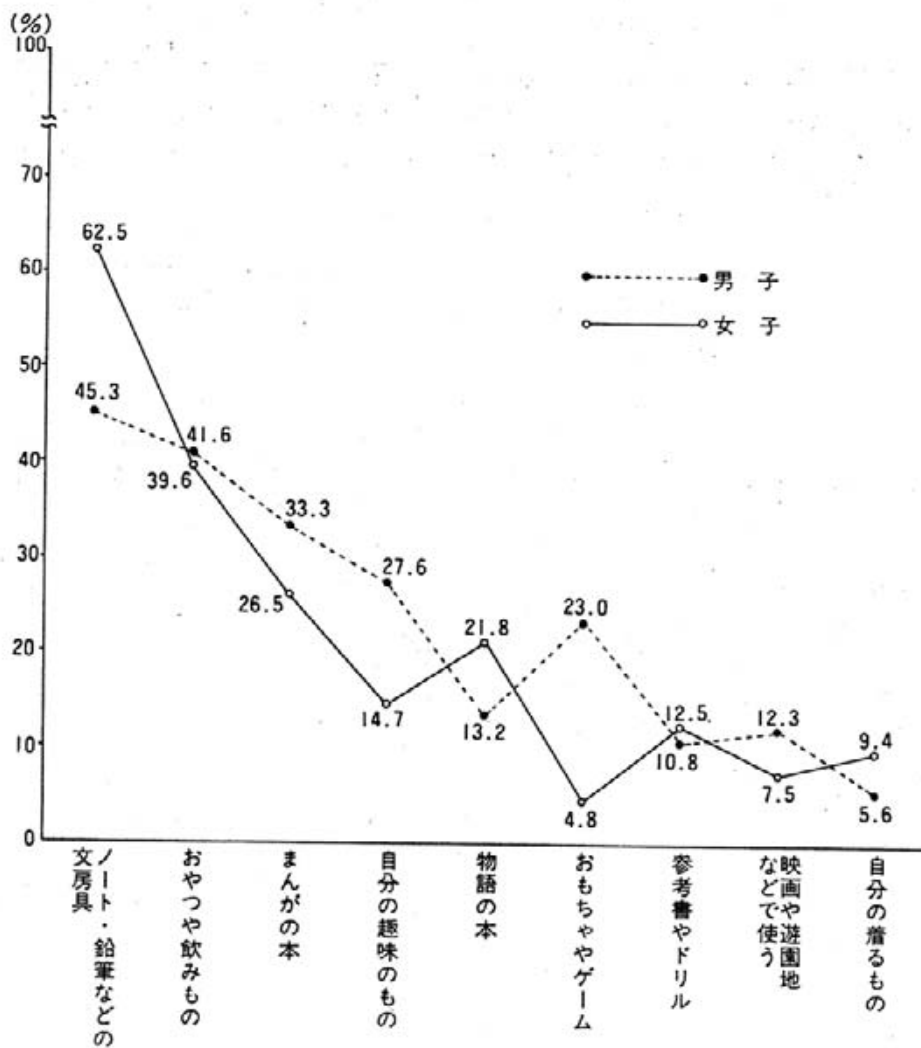
こづかいの使いみち

それでは子どもたちは、こづかいで何を買っているのだろうか。「しょっちゅう」あるいは「わりと」買うものは図5のとおりで、ノートや鉛筆などの文房具、そしておやつや飲みもの、つづいてまんが本、という順位となる。

1,000円あれば、ノートの何冊かとまんが本の1~2冊、そしておやつなどは求められよう。したがって、千円をうまく使えば、子どもなりに、まあまあ豊かな生活を送れそうに思える。

しかし、子どもたちに、今までに買ったも

図5・こづかいでよく買うもの



数字は「ときどき・わりと・しょっちゅう」買う割合

ので一番高価なものをたずねたところ、表1のような結果が得られた。

金額的にみると、男の子の使った額が女の子より多いが、これは、男の子がラジコンやプラモデルなどの値段の高いものを求めているのに対し、女の子は文房具や本などしか買わないためであろう。

ラジコンなどの場合、すこし精巧なものになると1万円を超えるものもまれではない。そしてプラモデルも、小学校高学年の子どもに充足感を与えるものは、数千円もするものになろう。

もちろんこうしたものは、月ぎめのこづかいだけではまかないきれないと思う。しかし、子どもたちは表2のように、平均して13万円を超える貯金をしている。お年玉を貯めたりした合計がそうした金額を生んだのであろうが、小6ともなると、14万円以上の貯金をもつ子が29%と、3割に達する。

もっとも、子どもたちは、「貯金をおろしたことがあるか」という問いに、

- | | |
|-------------|-------|
| ① おろしたことはない | 85.9% |
| ② 1～2度おろした | 11.7% |
| ③ とくときおろす | 2.1% |
| ④ よくおろしている | 0.3% |

と、こたえている。

したがって、お年玉の大半は貯金にまわり、1度貯金したものは、よほどのことがないかぎり、おろすことはない。しかし、全部を貯金するわけではないから、何千円かが机の中に残っている。それと、誕生日にもらうなどした特別のこづかいを加えて、プラモデルやラジコンなどを求めるのであろう。

いずれにせよ、子どもたちは、こづかいのほかに10万円を超える貯金通帳を、ほとんど手つかずの形でもっている。

子どもたちが通常使っているお金の単位は、文房具やまんが雑誌など、100円から、せい

表1・今までに買ったもので一番高価なものは？

学年	性別	男子 (ノ平均額)	女子 (ノ平均額)	平均額
4	男子	1位 プラモデル 2位 おかし 3位 ラジコン 4位 ゲームウォッチ 5位 文房具 5,322円	1位 文房具 2位 おかし 3位 プレゼント 4位 ゲームウォッチ 5位 ゲーム 1,601円	3,532円
5	男子	1位 プラモデル 2位 ゲーム 3位 ラジコン 4位 グローブ 5位 ゲームウォッチ 7,894円	1位 文房具 2位 ゲーム 3位 人形 4位 参考書 5位 プレゼント 3,222円	5,697円
6	男子	1位 プラモデル 2位 ラジコン 3位 ゲームウォッチ 4位 TVゲーム 5位 釣道具 13,334円	1位 服やくつ 2位 物語の本 3位 マンガ 4位 ゲーム 5位 めいぐるみ 8,064円	10,809円
平均額		8,861円	4,286円	全体平均額 6,682円

注) 学年・性のサンプル数が異なるので、平均額とは一致しない。

せい500円までのものであろう。したがって13万円という貯金額は、通常の額をはるかに超えたもので、おとなの貨幣価値に換算するならば、1千万円以上の残高のある通帳をもっているのに近かろう。

なお、図6によると、多くの家庭では、こづかいがなくなっても、理由がはっきりしていればお金をくれるという。したがって、千円というこづかいはあくまで目安であって、

足りなければなんとかなる。その上に、すでにふれたとおり、13万円の貯金まである。

さらに図7のように、子どもたちの回りには、腕時計や学習百科、ゲームウォッチなどの高価なものが多い。中には、ラジカセや、子ども専用のテレビ、カメラなどを持っている子ども目につく。そうだとしたら、子どもたちが金銭があるのをあたりまえと思い、金銭感覚のまひする可能性が強まってくる。

表2・子どもの貯蓄額

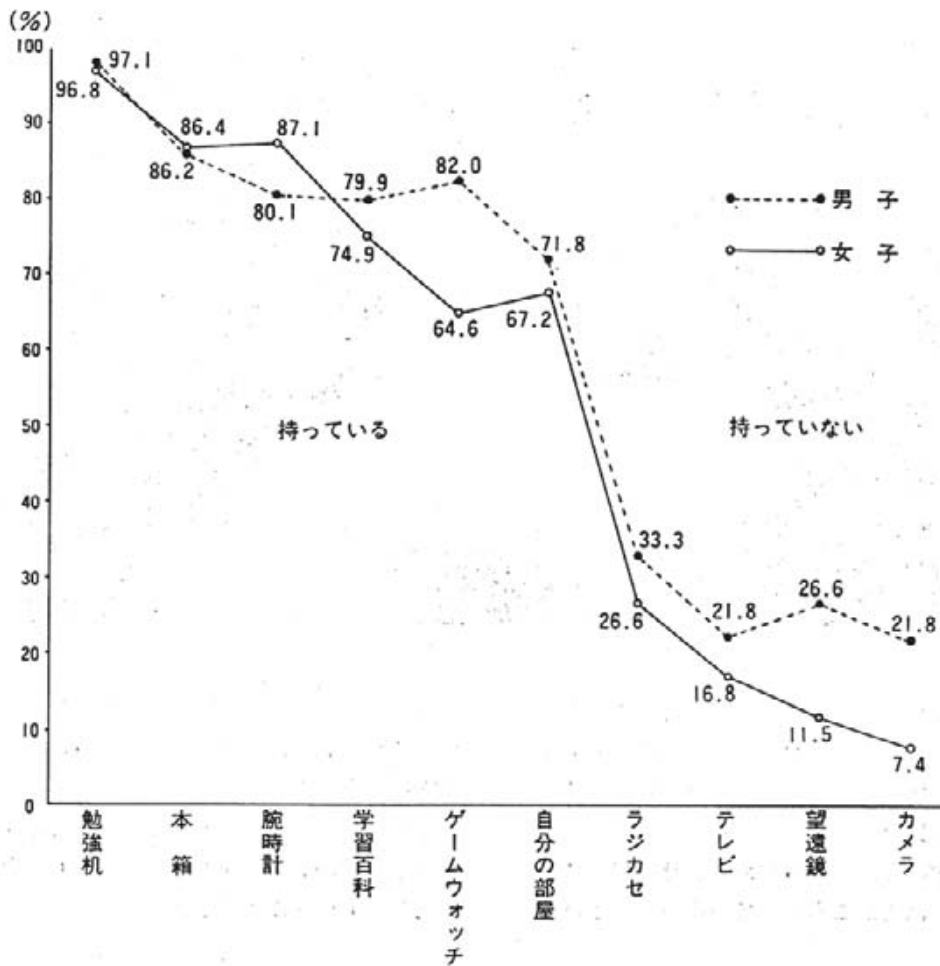
金額 性学年	(%)									平均金額
	0 20,000円	20,001 40,000円	40,001 60,000円	60,001 80,000円	80,001 100,000円	100,001 12万円	12万1千 14万円	14万 1千円 以上		
全体	13.9	13.7	13.9	10.7	9.3	8.0	4.2	26.3	136,310円
男子	14.0	15.0	13.2	10.8	9.2	7.0	4.4	26.4	142,360円
女子	13.8	13.0	14.5	11.5	10.2	9.6	4.4	23.0	129,230円
4年	13.8	10.4	19.3	12.3	8.5	7.8	5.7	22.2	139,630円
5年	14.4	17.2	11.2	13.0	8.6	9.6	2.2	23.8	127,080円
6年	13.5	13.6	11.8	7.8	11.7	6.5	5.8	29.3	144,870円

注) 今回の調査では100万円以上の子どもが932人中23人いた。

図6・こづかいがなくなったときお金をくれるか

性学年	(%)			
	せらた い くれ ない	理由 があれば 別 に くれ る	くれ る が 次 回 の を へ ら す	た の め ば い つ で も く れ る
全体	27.0	51.7	12.8	8.5
4年	33.7	44.4	11.9	10.0
5年	28.0	50.0	13.8	8.2
6年	20.1	60.0	12.2	7.7

図7・子どもの持っているもの



2. 子どもの金銭感覚



1でふれた状況を、おとなの尺度に換算してみよう。かりに、おとなの金銭感覚が子どもの100倍だとすると、——だまっけても1カ月に10万円もらえる。そして、貯金通帳には、1,300万円が入っており、身の回りに数十万円の品物がころがっている——という

ことになる。そうだとすると、おとなのわれわれでも、100円などはどうでもいいといった感覚が育ってこよう。

それと同じことが、子どもについても言えるのではないか。そう考えて、子どもの金銭感覚をたずねることにした。

値段についての感覚

それではまず、子どもたちが、どの程度の正確さで金銭の値打ちをとらえているのかをたずねてみよう。

1カ月の生活費についての子どもたちの推定は20万円で、家庭には半年ちかくのんびり遊んでいけるくらいの貯金があるだろうという(表3)。

子どもの推定にしては、かなりの正確さを感じさせるが、つぎに、いくつかの品物につ

いての値段をたずねてみた。結果は表4のとおりである。

テレビが18万、クーラーが30万、自動車は80万という子測で、正直なところ、子どもたちの金銭感覚はかなり正確という感じがする。

さすがに、現代っ子らしく、テレビや雑誌などをとおして定価を知っており、値段について、かなり正確な判断を下している。

表3・子どもの推定する1カ月の生活費と貯蓄

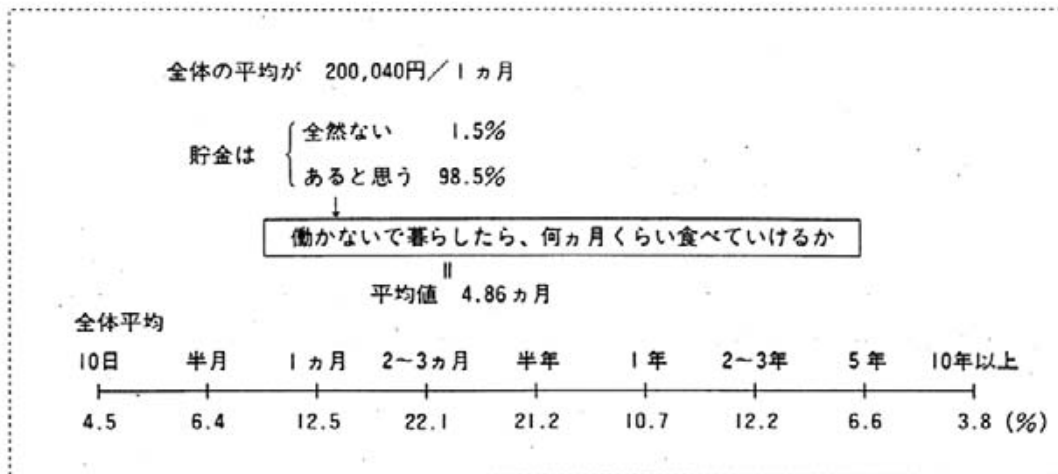


表4・品物の値段の推定と実際

金額 品物	子どもたちの推定	比較	実際 (平均的なもの)
ビデオカメラ	58,070円	=	50,000円
ビデオEC テレビ	175,710円	>	100,000円
ビデオデオ	263,100円	>	150,000円
クーラー テレビ	300,700円	>	200,000円
自動車	799,100円	<	1,000,000円
庭つきの家	951,400円	<	40,000,000円

友だちとのお金の貸し借り

それでは、そうしたお金の重みを、子どもたちはどうとらえているのか。

図8は、友だちとのお金の貸し借りについての感覚で、それぞれの学年での最頻値に着目すると、表5のようになる。

つまり、4、5年生は、お金の貸し借りはぜったいにしてはいけないと思っている。そ

して、6年生になると、100円くらいならいいと思いはじめる。塾通いなどが一般化し、それとともに、ほしいものが増え、それだけ6年生の場合は金銭を日常的に使うようになるのであろうか。

しかし、全体としてみると、お金の貸し借りはいけないと思っている子どもが多いのが

目につく。そして、図9でも、「友だちにお金を貸したら、どんなに少なくても返してもらおう」とこたえる子が半数を上回っている。

また、友だちから「お金を貸して」と頼まれたときの対応であるが、その理由①～③による子どもたちの反応はつぎのとおりである。

①学校の帰りにジュースを買いたい

- 1 貸したくない 86.4%
- 2 頼まれれば貸す 10.1%
- 3 すぐに貸す 3.5%

②学校で使うノートを買いたい

- 1 貸したくない 69.8%
 - 2 頼まれれば貸す 19.4%
 - 3 すぐに貸す 10.8%
- } 30.2%

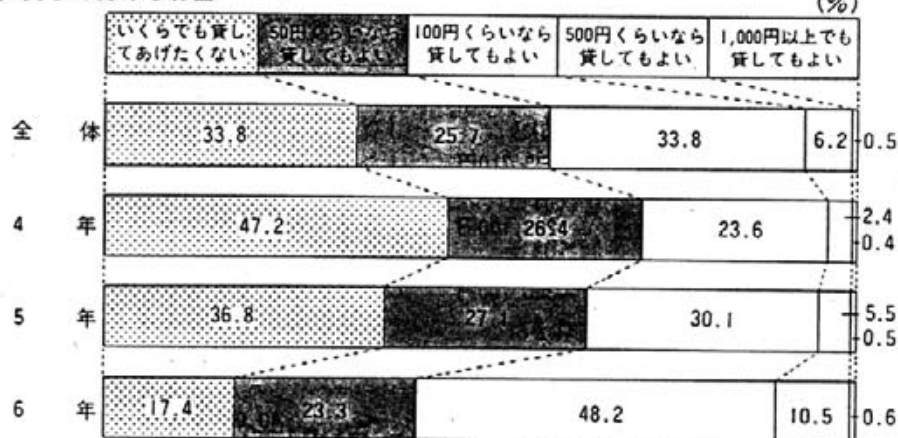
③遊園地でお金が足りなくなった

- 1 貸したくない 63.1%
 - 2 頼まれれば貸す 24.1%
 - 3 すぐに貸す 12.8%
- } 36.9%

このように、お金の貸し借りはしたくないし、特に、上述のように、理由があっても、お金を貸したくない。そして、万が一、貸したときは、それがどんなに少額でも返してもらおうというのが、子どもたちのもつ金銭感覚である。見方によれば、きわめて合理的だが、理由があってもお金を貸さないあたりに注目すると、友人よりお金を大事にするとも言えよう。しかも、子どもたちは、お金をもらっている立場なのに、もらうのはいいが貸したくはないと言うのであるから、子どもの金銭観はエゴイスティックにすぎる感じがする。

図8・お金の貸し借り

1) 貸してあげるお金



2) 借りていいお金

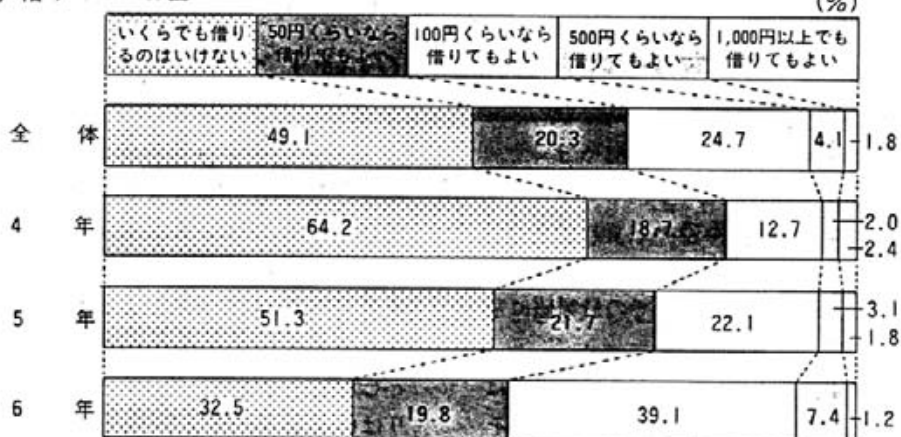
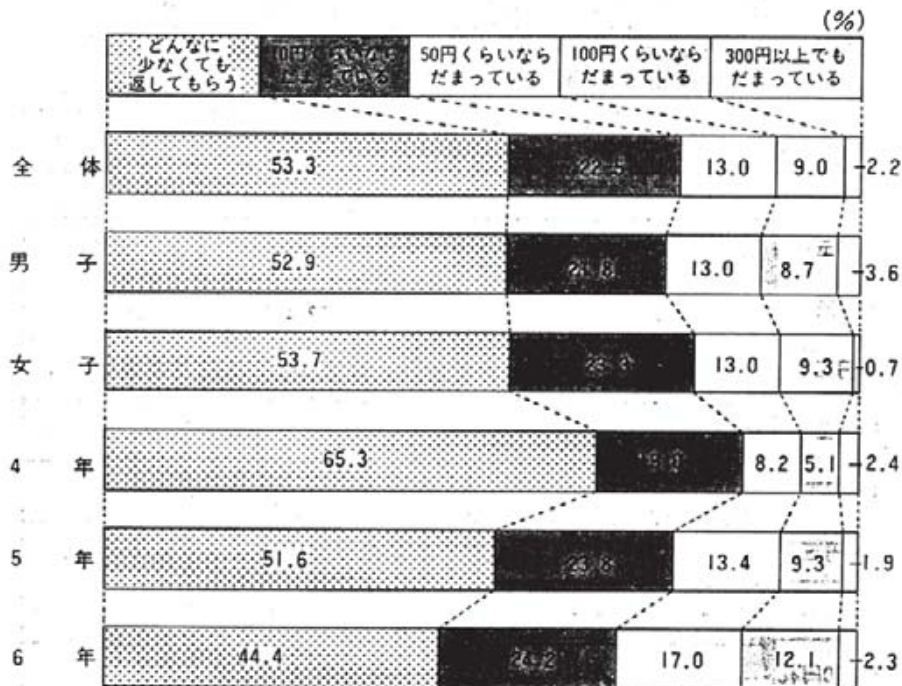


表5・お金の貸し借りについての意識

項目	貸し	借り
4年	いけない (47%)	いけない (64%)
5年	いけない (37%)	いけない (51%)
6年	100円ならいい (48%)	100円ならいい (39%)
全体	いけない (34%)	いけない (49%)

図9・友だちにお金を貸したとき、「だまっていたもいいな」と思う割合



金銭の重み

子どもたちは、友だちにはお金を貸したくないと思っているのは上述のとおりだが、それでは、そのお金の重みを、どの程度と思っているのか。「お金が道に落ちていた場合」を子どもたちに考えさせてみた(図10)。最頻値に着目してみよう。

①お金をそのままにしておく { 1円 (32%)
5円 (28%)

②拾って自分のものにする { 10円 (34%)
50円 (39%)
100円 (37%)
500円 (55%)

③拾って警察に届ける { 1,000円 (70%)
5,000円 (74%)

つまり、5円までは拾う気にもなれない。そして、100円までは、自分のものにしてい

図10・お金が道に落ちていたらどうするか

	拾って自分のものにする	拾ってお母さんにあげる	拾って警察に届ける
1円玉	22.1	22.1	23.4
5円玉	23.2	23.4	25.9
10円玉	33.5	23.6	26.3
50円玉	38.8	22.6	31.2
100円玉	37.0	21.2	38.0
500円玉	25.3	18.0	54.7
1,000円札	16.5	12.2	69.6
5,000円札	13.9	10.8	73.8

いように思う。警察に届けるのは500円から、という評価である。子どもにとっては、500円からが大金になるのであろうか。

そうしたことを裏書きするかのように、窓ふきや草むしりをしたときのごほうびのお金は、図11のように、100円くらいだという回答が多く、平均値に換算しても300円弱にな

る。

このように、子どもたちが日常的に使っているお金は100円くらいで、ごほうびも200～300円くらいが妥当だという。したがって、ごほうびをもらったとき、5円とか10円ではがっかりするという意見が多い(図12)。

図11・窓ふきや草むしり(1時間)のごほうびの金額

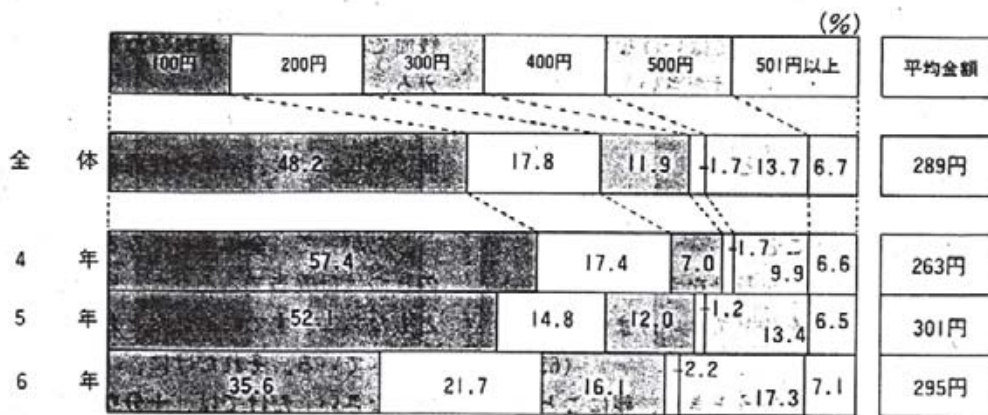
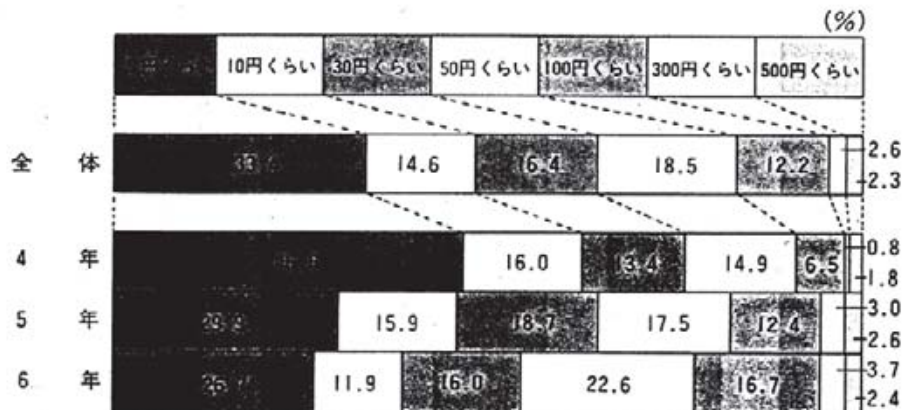


図12・ごほうびでがっかりする金額



金銭的なしつけ

今までふれてきたように、子どもたちは、見方によればしっかりと、そして他面から言えばエゴイスティックな金銭観を抱いていた。

もちろん、子どもたちのこうした金銭観は、親たちのしつけから身につけたものが多からう。そうした金銭面でのしつけをたずねた結果が図13である。

①親が言わないこと

- 1 食べものを買ってはいけない (46%)
- 2 こづかい帳をつけなさい (49%)
- 3 お金をじょうずに使いなさい (35%)

②親がたまに言うこと

- 1 なるべく貯金をしなさい (43%)

③親がよく言うこと

- 1 買ったものを見せなさい (47%)
- 2 人にお金を借りてはいけません (65%)
- 3 高いものを買うときは、親にことわりなさい (65%)

- 4 よく考えて、計画的に使いなさい

(36%)

- 5 いいものを選んで買いなさい (44%)

- 6 つまらないものを買ってははいけません (61%)

「高いものを買うときは親にことわりなさい」あるいは「つまらないものを買ってははいけません」などの数値をみると、親たちの金銭面でのしつけは、おおむね妥当のようにみえる。

なお、図14、図15のように、そうした金銭面でのしつけは、学年や性別を問わず、どの子にもなされている。

したがって、全体としてみると、金銭面でのしつけは妥当であろうが、残念ながら、子どもたちは、すでにふれたとおり、お金を持ちすぎている。それだけに、「お金を大事に使いなさい」だけでは、十分なしつけと言いきれない気がしてくる。

図13・金銭面でのしつけ

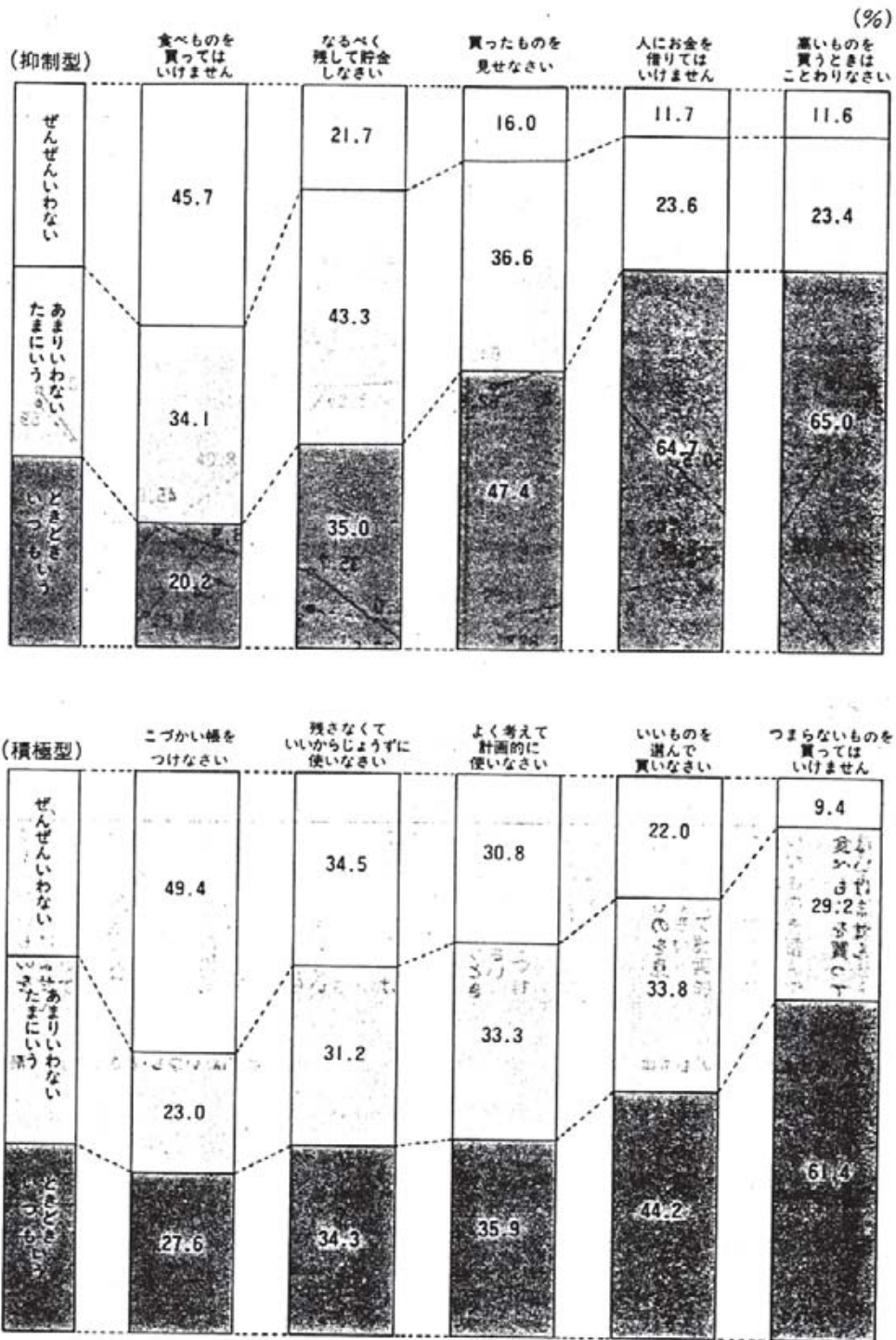
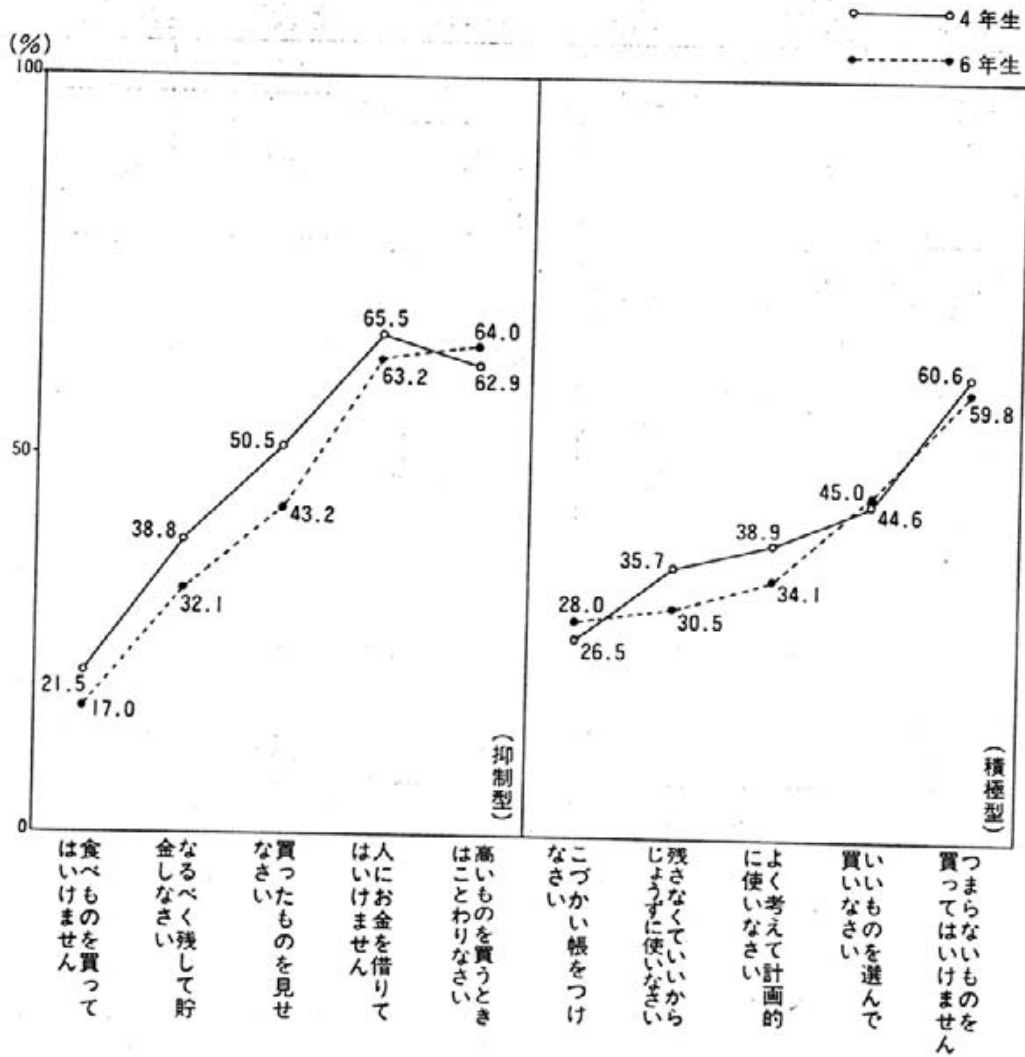
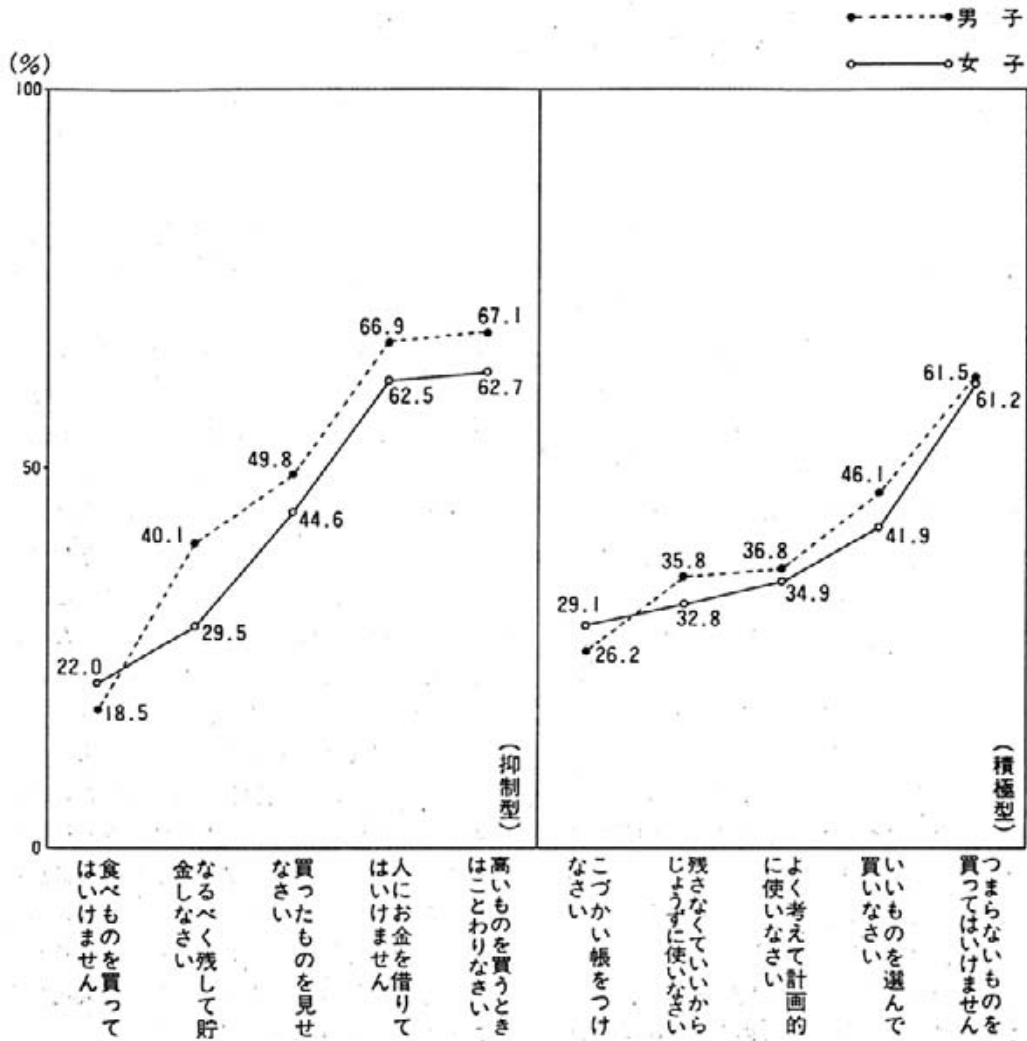


図14・金銭のしつけ×学年差



数字は「いつも・ときどき」いう割合

図15・しつけ×男女差



数字は「いつも・ときどき」いう割合

まとめに代えて

子どもたちに、自分の家についての生活水準をたずねてみた。

1 とても豊か	3.4%	} 17.0%
2 わりと豊か	13.6%	
3 ふつうくらい		69.3%
4 あまり豊かでない	10.6%	} 13.7%
5 ぜんぜん豊かでない	3.1%	

この結果をみると、子どもたちは自分の家を、豊かであるとも豊かでないとも思わない。ふつうくらいの暮らしであるという評価をしている。中流意識の定着が、おとなの間で問題にされることが多いが、子どもにとっての「ふつう」は、そうした中流の感覚なのであろう。

そして、そうした家庭の中で暮らす子どもたちは、金銭について、「道にお金が落ちていたら」の項目のとおり、

- ①5円までは拾わない
- ②100円までは拾って使う
- ③500円からは警察へ届ける

とこたえている。拾ったものを自分のものにするのが望ましい、などと言うつもりはない

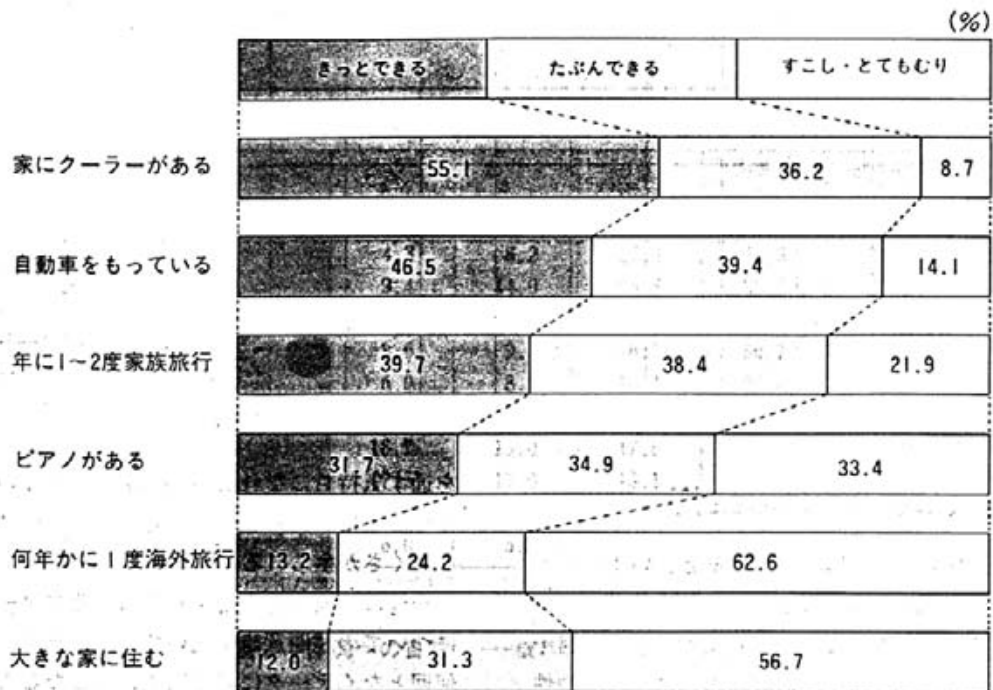
が、子どもなりに、健全な反応であろう。

しかし、友だちに「お金を貸して」と頼まれたとき、理由があっても貸さないし、貸したお金は、少ない額でも返してもらうという。なんとなく、自分中心で、助け合いの気持ちに欠ける気がする。おそらく子どもたちは、今までに、お金をもらったことはあっても、人のためにお金を使った体験はないのであろう。そのため、お金を大事に貯め、そしてじょうずに自分で使えばよいと思っている。もちろん、それも大事なことだが、人のため、そして社会のために、お金を使うというようなしつけも、時としては必要となろう。

なお、最後に、子どもたちの描く未来の生活を紹介しておく(図16)。自動車くらいは求められそうだが、毎年のように海外旅行をするのはむずかしいだろうと子どもたちは思っている。これは、親たちの生活と同じレベルの未来を予想しているように見える。そうした子どもたちの抱く未来への夢が、実現することを願いたいと思う。

※おことわり：本文中に使用した写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません。

図16・おとなになったらどんな生活を送りそうか



そうだとすれば、料理に自信があればあるほど、盛りつけに工夫をこらすのが、料理人としての責務となろう。

それと同じように、調査はたくさんの人たちの協力を得て実施される以上、それらの人たちの協力を報いるためにも、調査担当者としては、理解しやすい形でデータを提示し、幅広い層に社会的な還元を図るのが使命となる。

見やすい表づくりを

そこで、以下、具体例をあげながら、図表のつくり方にふれてみよう。

まず、表1のようなデータがある。これは、小学4～6年生約5,000名に、体の自覚症状をたずねた項目——実際は25項目を使用した——が、ここではスペースの関係で10に圧縮してある——の単純集計を示している。

しかし、これでは、設問の項目順に素材を並べただけで、全体の傾向をとらえにくい。そこで、表1を理解しやすい形で整理する必要が生まれる。すでにふれた「盛りつけの技術」である。

表1を使って図化するのも可能だが、データを正確に示すという意味では、表のほうがすぐれている。そこで、表1を見やすくした

表1 体調への自覚

(%)

項目	尺度	とても そう 思う	わりと そう 思う	少し そう 思う	あまり そう 思わない	ぜんぜん そう 思わない
体がだるくなる		4.3	8.2	17.8	30.3	39.5
すぐあくびができる		9.4	14.0	25.6	30.3	20.8
疲れやすい		7.8	10.5	19.4	24.5	32.8
すぐねむくなる		9.6	9.3	16.3	30.7	34.1
すぐ足がだるくなる		6.0	8.6	16.1	29.8	39.5
けがをしやすい		18.5	16.3	18.4	22.4	24.3
夜ねつきが悪い		18.7	13.0	17.8	21.6	28.8
乗物によう乗りかた		17.5	11.0	15.1	16.9	39.5
よその家でわめれない		12.3	9.7	13.3	22.5	42.3
すぐに胸がドキドキする		6.0	5.6	12.6	27.7	48.1

注) 項目は調査票へ盛りこんだ順序に並べてある。

表2 体調への自覚 ——疲れやすい子が約2割——

(%)

項目	尺度		割合			
	とても	わりと	(小計)	すこし	あまり	ぜんぜん
けがをしやすい	18.5	16.3	(34.8)	18.4	22.4	24.3
夜ねつきが悪い	18.7	13.0	(31.7)	17.8	21.6	28.8
乗物によう乗りかた	17.5	11.0	(28.5)	15.1	16.9	39.5
すぐあくびができる	9.4	14.0	(23.4)	25.6	30.3	20.8
よその家でわめれない	12.3	9.7	(22.0)	13.3	22.5	42.3
疲れやすい	7.8	12.5	(20.3)	19.4	29.5	32.8
すぐねむくなる	9.6	9.3	(18.9)	16.3	30.7	34.1
すぐ足がだるくなる	6.0	8.6	(14.6)	16.1	29.8	34.8
体がだるくなる	4.3	8.2	(12.5)	17.8	30.3	39.5
すぐに胸がドキドキする	6.0	5.6	(11.6)	12.6	27.7	47.8

のが、表2となる。ここでは、以下のような3点で工夫をこらしてある。

- ① 「とても、わりと」に着目して、比率の多いものから順に、項目の入れかえを行ってある。もちろん、表2は、子どもたちの体調の悪さを指摘する目的でつくられているから、体調のよさに脚光を浴びせたい場合は、「ぜんぜんそう思わない」の割合の多い項目から順に、全体を入れかえる必要がある。
- ② 小計の欄を設けて、全体の傾向をとらえやすくしてある。表の命が正確さにあるのは言うまでもないが、全体の傾向をとらえやすくする作業も必要であろう。そこで、「とても」と「わりと」そう思

う割合を加算して、不調の比率を示してみた。

- ③ 表の下に見出しをつけてある。表は、ともすると数値の羅列になりがちなので、この表から何を言いたいのかを、簡単な形でコメントをつけることにした。

しかし、表2は、あくまで単純集計の結果なので、当然、学年や性別により、数値に開きが生ずるのは予想されよう。また、そうした体調の良し悪しが、学業成績や外遊びの有無、家庭環境などに、どの程度、関連をもつのかを知りたくなる。

そうしたクロス集計は、コンピュータを利用する場合、コントロール・カード(命令文)を何枚か用意すれば、簡単にアウト・プット

表3 疲れやすい×学年
—学年があがると、疲れやすくなる—

(%)

尺度 学年	疲れやすい			疲れやしくない	
	とても	わりと	すこし	あまり	ぜんぜん
小.5	6.3	7.8	16.3	30.2	39.4
小.5	∧	∧	∧	∨	∨
小.5	7.5	10.4	19.6	29.8	32.7
小.5	∧	∧	∧	∨	∨
小.5	9.8	12.3	22.4	28.5	27.0
小.5	7.8	10.5	19.4	29.5	32.8

表4 体調×学校の楽しさ
—体調がよくないと学校は楽しくない—

(%)

尺度 体調	学校へ行くのが楽しい			楽しくない	
	とても	わりと	すこし	あまり	ぜんぜん
不調群	16.0	14.5	24.1	27.2	18.3
不調群	∧				
やや不調群	17.8	14.8	24.4	28.9	14.1
やや不調群	∧				
ふつう群	23.4	16.6	23.2	24.9	11.9
ふつう群	∧				
好調群	32.4	14.5	17.9	16.7	18.9
好調群	∧				
計	22.4	15.2	22.4	24.4	15.8

できる。

しかし、それをどう表化するのかは、かならずしも容易ではない。なぜなら、表1の10項目、それぞれについて、学年や性、地域ごとの集計結果を記載すれば、それぞれ数字の羅列となり、何を明らかにしたいのかわからなくなる。

そこで、結果を要約した形で、表化する必要が生まれる。その際、具体的な形としては、

- ① 表1のすべての項目について、「とても」「わりと」そう思うの割合を、学年や性別にまとめ、ひとつの表をつくる。
- ② 表1のなかでも代表的な「疲れやすい」に例をとって、この項目だけ、クロス集計表を提示する。

などが考えられる。②の実例を、学年についてまとめたのが表3である。その他、やや手間をかけた集計としては、

- ③ 表1の10の項目を加算して合計点の高い者から低い者までを、4つのグループに分け、体調不調群から好調群へ、カテゴリライズする方法。
- ④ ③と発想は同じだが、これを、統計的にもう少し洗練させると、各項目の反応を調べ、「ちょっと走っただけでも胸がドキドキする」のように、半数近くが、「ぜんぜんそう思わない」と、回答が偏った項目を除外して——統計的にはリッカート法 Likert method などがある——カテゴリライズする方法がある。

表4は、④の形でサンプルをカテゴリライズした結果を「学校に行くのが楽しいか」とクロスさせたもので、こうした集計を行うと、学校へ行く楽しさが体調のよさに支えられていることが明らかになってくる。

実をいうと、調査は、大別して①表2のような全体の傾向をつかむことと、②表3や表4のように、こまかな分析を行い、見落としがちな、あるいはわかりにくい傾向を明らかにする、の2つを目的としている。①、②の

いずれも必要な技法だが、このように、単純集計の傾向をみて、クロス集計のデザインを考え、さらに、その後、もう少し複雑な集計をするというように、作表をイメージに置くと、何回かに分けて集計を重ねる必要性が生じてくる。

しかし、いずれにせよ、表には調査者の考え方が端的に反映されるので、意味のある結果を精選し、そのかわり、可能なかぎり、全体の数値を提示する表づくりに心がけるべきであろう。

印象に残る作図を

そうはいうものの、表はあくまで数値を提示するだけなので、ひと目で理解しにくい。したがって、重要なデータを、わかりやすい形で図化する必要が生まれる。

そこで、表1に戻って、これを図化する場合を考えてみよう。「とてもそう思う」から「ぜんぜんそう思わない」までを単純に図化したのでは、グラフが入りみだれて理解しにくい。便法として注記したように、反応を3つに分けてグラフ化すると、図1のとおりとなる。

もちろん、作図の常識として、折れ線グラフを使えるのは、数量的な推移——たとえば、1月、2月のような——に限られ、質的なデータは、棒グラフを利用せよといわれる。しかし、ここではそうした常識をふまえたうえで、わかりやすさを優先させて、図1のような形をとることにした。

しかし、図1の場合、わかりやすいのはたしかだが、これだけでは、「とても」「わりと」そう思う者の割合が加算されているので、それぞれの占めるパーセントがわからないし、図中に数値を入れる場合でも、小数点以下は記入しにくい。したがって、データを図示するときは、もとになる数値を、付表でもよいから掲げておくのが親切だと考えられる。

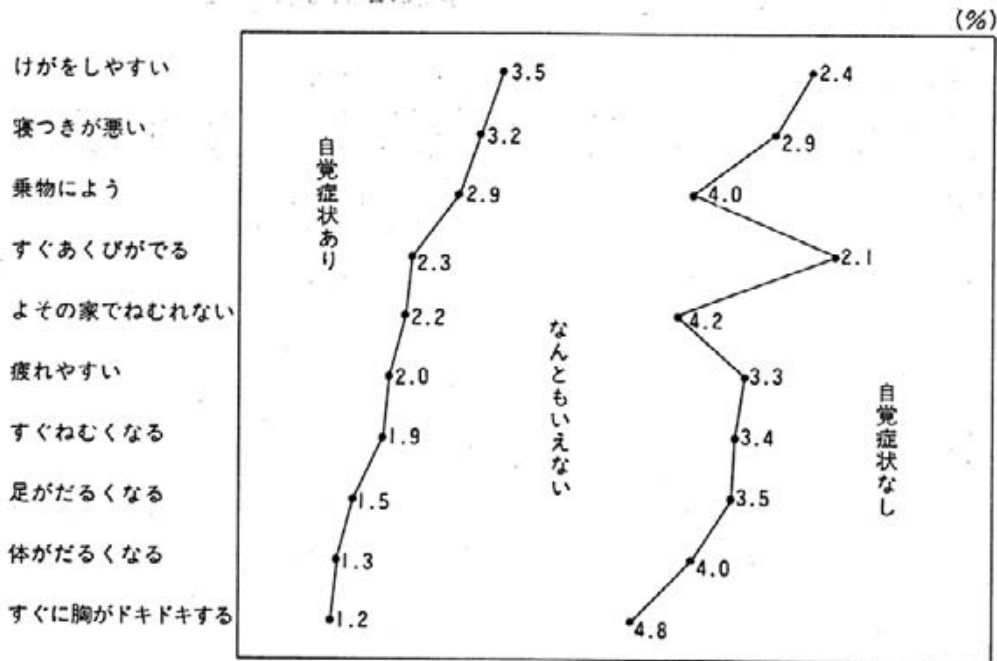
その他、表1のなかから、とくに1つを選んで強調したい場合は、棒グラフや円グラフなどを利用して提示すると、印象がはっきりとしてくる(図2)。

一般的に言って、調査をはじめて間もないころは、扱えるデータも限られているので、図化することが多いが、調査慣れするにつれて、たくさんの表を掲げて、わかりやすさへの配慮を忘れがちになる。

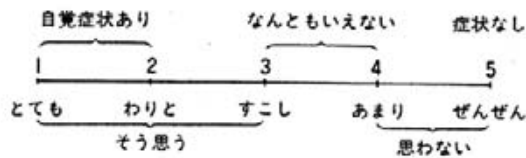
しかし、いずれにせよ、何百のデータのなかから、表や図として提示できるものは、何十かに限られてくる。したがって、

- ① 報告書に使うデータと棄てるデータとを識別しておく。
- ② 本文中に「夜寝つきが悪いと思っている子は、かなり、の13%を含めて、32%に達する」のように、数値を挿入する。
- ③ 正確なデータを提示したいときは、表

図1 体調への自覚
——「疲れやすい」が、ほぼ2割——



注) 図中のカテゴリーは以下の通り。



を利用し、原則として小数点一位までを掲げておく。

- ④ 強調したい内容は、図化する。ただし、図の数が多くなると、印象が薄れるので、図化する内容は、とくに精選する。
- ⑤ 資料が豊富な場合は、単純集計や基礎的なクロス表を巻末に付表として提出し、本文中に利用する図表の数を減らす。

などが望ましかろう。

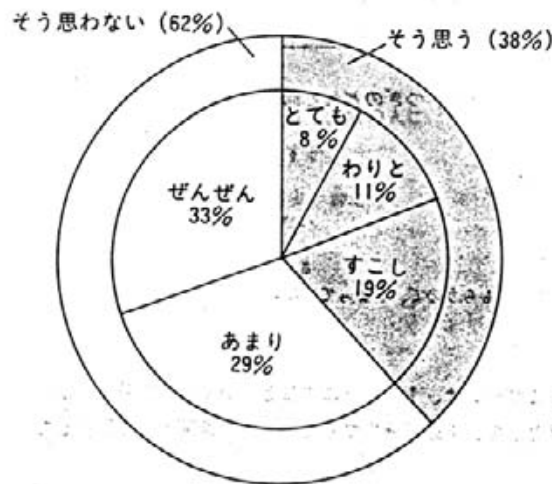
近年、イラストなどの技術がめざましく発

展している。したがって、印刷でなく、手づくりで報告書をつくる時は、そうした特性を生かして、カットなどに工夫をこらし、読みやすい図表づくりに心がけてほしい。

あらためてふれるまでもなく、読んでもらえないことには、結果の公表が無意味になる。読者のなかには数字嫌いの人が少なくないから、そうした人をイメージに置き、誰でも楽しく読める図や表をつくることが重要であろう。

図2 疲れやすさの自覚

——「すこし」を含めると4割——





これはテストではありません。日本の子どもたちにたくさんおねがいして、その生活をしらべるためのものです。思ったことをそのまま答えてください。

やりかたの練習

あなたはカレーライスが大好きですか？

とても かなり よつう すこし とても
好き 好き 3 くらい 好き
1 ————— ② ————— 3 ————— 4 ————— 5

あなたがもしカレーライスを かなり好き だと思ったら
上のように番号のところを○でかこんでください。

① まず学年などを書いてください。

- ① 学校の名まえ _____ 小学校
- ② 学年 …………… (4, 5, 6) 年 <○でかこむ>
- ③ 男女 …………… (1.男 2.女) <○でかこむ>

② あなたのこづかいのもらいかたは、つぎのどれと同じですか。

- 1. 1か月分ずつまとめてもらう
- 2. 10日か半月に一度まとめてもらう
- 3. 1週間分ずつまとめてもらう
- 4. 毎日、その日の分をもらう
- 5. ほしい時、家の人にいつからもらうので、きまっていない
- 6. もらっていない

③ あなたがもらっているこづかいは、1か月分にすると、いくらになりますか。
(毎日もらう人は30日として、1週間分ずつもらう人は4週間として計算してください)

円

④ あなたが②で答えたようなもらいかたになったのは、いつごろからですか。

- 1. 小学校にあがる前から
- 2. 1年生の時から
- 3. 2年生の時から
- 4. 3年生の時から
- 5. 4年生の時から
- 6. 5年生の時から
- 7. 6年生になってから

⑤ いつも（月ごめ、週ごめ、毎日など）もらっているこづかいを、あなたに手渡してくれるのはだれですか。

1. お父さん
2. お母さん
3. お父さんの時もお母さんの時もある
4. おじいさん・おばあさんなど
5. もらっていない

⑥ あなたは、今もらっているこづかいでたりていますか。

ぜんぜん たりない 少し たりない ちょうどいい わりと あまっている とても あまっている
 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

⑦ あなたは、できることならこづかいを（1か月分にして）どのくらいもらいたいと思っていますか。

円ぐらいほしい

⑧ もしあなたが、もらったこづかいを早く使ってしまったら、家の人に「もう少しください」といったら、家の人はどうすると思いますか。

1. 「もうこづかいはあげたから」といって、ぜったいにくれない
2. その理由をきいて、ちゃんとした理由があれば、べつにくれる
3. くれるけど、つぎの月のぶんをそれだけへらす
4. たのめば、いつでもすぐくれる

⑨ つぎの中で、あなたがこづかいでよく買うものはどれですか。

	ぜんぜん 買わない	たまに 買う	ときどき 買う	わりと 買う	しょっちゅう 買う
ア. おやつやのみもの……………	1	2	3	4	5
イ. まんがの本……………	1	2	3	4	5
ウ. 物語の本……………	1	2	3	4	5
エ. おもちゃやゲーム……………	1	2	3	4	5
オ. ノートやえんぴつなどのぶんぼうぐ……………	1	2	3	4	5
カ. 自分の着るもの……………	1	2	3	4	5
キ. 映画やゆうえん地などでつかう……………	1	2	3	4	5
ク. 切手などのしゅみのもの……………	1	2	3	4	5
ケ. さんこう書やドリル……………	1	2	3	4	5

● 資料1 調査票見本

⑩ つぎのうち、あなたもっているものは、1に○をつけ、もっていないものは2に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. カメラ …… 1 ——— 2 | 2. 勉強づくえ …… 1 ——— 2 |
| 3. うで時計 …… 1 ——— 2 | 4. 自分の部屋 …… 1 ——— 2 |
| 5. ラジカセ …… 1 ——— 2 | 6. 本 箱 …… 1 ——— 2 |
| 7. 学習資料 …… 1 ——— 2 | 8. テレビ …… 1 ——— 2 |
| 9. 望遠鏡 …… 1 ——— 2 | 10. ゲームウォッチ …… 1 ——— 2 |

⑪ あなたは、あなたのちょ金通帳つうちょうをもっていますか。

- 通帳を { 1. もっていない (どちらかに○)
2. もっている

↓
今、 万 千円くらいちょ金してある

⑫ あなたは、ゆうびん局や銀行のちょ金をおろして使ったことがありますか。

- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|
| おろしたことはない | 1度か2度あり | ときどきおろす | よくおろして使う |
| 1 | 2 | 3 | 4 |

⑬ それでは、あなたが、おつかいのごほうびにお金をもらっても、「なんだ、これっぽっちか」とがっかりするのはいくらぐらいですか。

- | | | | | | | |
|--------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|
| 5円 くらい | 10円 くらい | 30円 くらい | 50円 くらい | 100円 くらい | 300円 くらい | 500円 くらい |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

⑭ それでは、あなたが草むしりやガラスなどをふくなどして、いっしょうけんめいに働いたとします。そうしたら、1時間働いて、いくらぐらいのお金をもらえると思いますか。

1時間働いて 円くらい

⑮ それでは、つぎのような額ひきのお金が道におちていたら、あなたはどのように思いますか。

- | | | | | |
|-----------|----------|-------------|--------------|---------------|
| | そのまましておく | ひろって自分のものにす | ひろってお母さんにあげる | ひろってけいさつにとどげる |
| ① 1円だま …… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 5円だま …… | 1 | 2 | 3 | 4 |

- | | そのままに
しておく | ひらって
自分の
ものにする | ひらって
お母さんに
あずける | ひらって
けいまつに
とどける |
|-----------------|---------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ③ 10円だま…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 50円だま…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 100円だま…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 500円だま…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 1,000円きつ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ 5,000円きつ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

16 あなたが自分でお金を出して買ったもので、いちばん高かったのはいくらぐらいで、それは何を買ったのですか。

- ① 使ったお金…………… 円
- ② 買ったもの……………

17 つぎのようなものは、だいたいいくらぐらいだと思いますか。とくに高いものではなく、ふつうのねだんを考えてください。

1. カメラ…………… 万 千円
2. テレビ…………… 万 千円
3. ビデオ…………… 万円
4. ターラー…………… 万円
5. 自動車…………… 万円
6. 庭つきの家…………… 万円

18 あなたの家では、1か月だいたいいくらぐらいで生活していると思いますか。

万 千円ぐらい

● 資料1 調査票見本

19 それでは、あなたの家にはどれくらいのちよ金があると思いますか。

- ちよ金は
- 1. ぜんぜんない
 - 2. ちよ金はあると思う



そのちよ金を使って、みんなで働かないでくらしたら、
何か月ぐらいたべていけると思いますか。

- 10日 半月 1ヵ月 2-3ヵ月 半年 1年 2-3年 5年 10年
くらい くらい くらい くらい くらい くらい くらい くらい 以上
- 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

20 あなたの家は、ふつうの家とくらべてゆたか(お金持ち)なほうだと思いますか。

- とても わりと ぶつう あまり ぜんぜん
ゆたか ゆたか ぶつう ゆたかでない ゆたかでない
(お金持ち) (お金持ち) くらい (お金持ちでない) (お金持ちでない)
- 1 — 2 — 3 — 4 — 5

21 あなたは、あなたのお父さん(あるいはお母さん)と同じ年くらいになったら、
つぎのようなことができると思いますか。

- きつと たくさん すこし とても
できる できる じり じり
- ① 自動車をもっている..... 1 — 2 — 3 — 4
- ② 家にターラーがある..... 1 — 2 — 3 — 4
- ③ 家にピアノがある..... 1 — 2 — 3 — 4
- ④ 年に1-2度はかぞくて旅行が
できる..... 1 — 2 — 3 — 4
- ⑤ 大きな家に住む..... 1 — 2 — 3 — 4
- ⑥ 何年かに一度、みんなで海外を
旅行する..... 1 — 2 — 3 — 4

22 お友だちとお金のかしかりについておたずねします。

ア. つぎのような時に、友だちに「お金をかして」といわれたらどうすると思
いますか。

㉔ 学校の帰りに友だちから「ジュースを買ってのみたいからお金をかして」といわれた

- かして 友だちがしつこく すくかして
あげたくない たのめばかしてあげる あげる
- 1 — 2 — 3

㉕ ゆうえん地で遊んでいて、友だちから「お金がたりなくなったからかして」といわれた

- かして 友だちがしつこく すくかして
あげたくない たのめばかしてあげる あげる
- 1 — 2 — 3

㉖ 友だちから「あした学校で使うノートを買いたいからお金をかして」といわれた

- かして 友だちがしつこく すくかして
あげたくない たのめばかしてあげる あげる
- 1 — 2 — 3

イ. お友だちに、いくらぐらいのお金ならかしてあげてもいいと思いますか。

たとえいくらでも 50円ぐらい 100円ぐらい 500円ぐらい 1,000円以上
かしてあげたくない ならかしてよい ならかしてよい ならかしてよい でもかしてよい
1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

ウ. それでは、いくらぐらいのお金なら、友だちにかりてもいいと思いますか。

たとえいくらでも 50円ぐらい 100円ぐらい 500円ぐらい 1,000円以上
かりるのはよくない ならかりてよい ならかりてよい ならかりてよい でもかりてよい
1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

エ. 友だちにかしたお金を、友だちがなかなか返してくれない時、いくらぐらいなら「だまっけてもいいな」と思いますか。

どんなに少なくても 10円ぐらい 50円ぐらい 100円ぐらい 300円以上
返してもらおう ならだまっけてよい ならだまっけてよい ならだまっけてよい でもだまっけてよい
1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

23 あなたのお母さんは、つぎのようなことをあなたにどのくらいいいいますか。

- いつも ときどき たまに あまり ぜんぜん
いう いう いう いわない いわない
- ア. 「こづかいはなるべく残してちよ金を
をしたほうがいい」 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- イ. 「買ったものを見せなさい」 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ウ. 「食べものを買ってはいけません」 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- エ. 「つまらないものを買ってはいけま
せん」 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- オ. 「高いものを買う時は、親にことわ
りなさい」 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- カ. 「こづかいちようをつけなさい」 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- キ. 「人にお金をかりるのはいけません」 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ク. 「毎日いくらぐらい使えばいいか考
えて、計画的に使いなさい」 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- ケ. 「なるべくいいものを選んで買いな
さい」 1 — 2 — 3 — 4 — 5
- コ. 「のこさなくてもいいから、じょう
ずに使いなさい」 1 — 2 — 3 — 4 — 5

24 あなたのお母さんは、しごとをしていますか。

1. しごとをしないで、いつもうちにいる 4. パートのしごとをしている
2. うちのしごとをてつだっている 5. パートでないしごとをしている
3. うちでしごとをしている 6. そのほか

〈これで終わります。どうもありがとう。〉

● 資料2 学年・性別集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目	サンプル数(人)	学年・性別	全7校	性別別		学年別		
				男子	女子	4年	5年	6年
①		4年	453	238	215			
		5年	629	320	309			
		6年	491	254	237			
		男子	812					
		女子	761					
②	もらった回数	1. 1ヵ月分まとめて	56.4	55.2	57.7	47.9	53.9	67.3
		2. 10日か半月に一度	1.1	1.2	0.9	1.6	0.8	1.0
		3. 1週間に一度	5.9	7.1	4.6	6.3	6.9	4.3
		4. 毎日	5.8	7.5	4.1	8.0	5.5	4.3
		5. ほしい時に	22.3	20.9	23.8	25.7	23.3	18.0
		6. もらっていない	8.5	8.1	8.9	10.5	9.6	5.1
③	1ヵ月のもらった金額	1. ~300円	10.9	11.5	10.3	17.8	11.5	4.2
		2. 400円~500円	27.7	26.8	28.7	37.1	30.7	15.9
		3. 600円~1,000円	32.2	31.3	32.5	22.2	28.4	45.8
		4. 1,100円~2,000円	17.6	18.4	16.7	13.8	16.3	22.1
		5. 2,100円~3,000円	7.9	7.9	8.0	6.8	7.9	8.3
		6. 3,100円~5,000円	2.4	2.2	2.8	1.7	3.3	2.3
		7. 5,100円~	1.3	1.9	1.0	0.6	1.9	1.4
④	もらった時期	1. 小学校入学前から	13.2	15.2	11.1	17.5	12.4	10.4
		2. 1年の時から	17.4	16.7	18.1	23.2	14.3	15.8
		3. 2年の時から	13.1	13.4	12.7	17.7	12.9	9.1
		4. 3年の時から	21.9	20.9	23.0	24.8	23.6	17.2
		5. 4年の時から	19.0	18.5	19.6	16.8	22.5	16.8
		6. 5年の時から	12.3	11.9	12.7	0	14.3	20.9
		7. 6年の時から	3.1	3.4	2.8	0	0	9.8
⑤	手渡す人	1. 父	7.6	8.4	6.7	6.3	7.8	8.6
		2. 母	57.6	57.2	58.0	51.5	55.9	65.2
		3. 父母両方	22.0	21.7	22.3	25.0	23.3	17.6
		4. 祖父母	4.3	4.3	4.3	6.3	4.0	2.9
		5. もらっていない	8.5	8.4	8.7	10.9	9.0	5.7
⑥	足りているか	1. ぜんぜん足りない	7.7	11.1	3.9	7.4	7.5	8.1
		2. すこし足りない	23.5	27.1	19.6	19.4	21.1	30.2
		3. ちょうどいい	46.6	43.3	50.3	50.8	49.0	40.0
		4. わりと余っている	13.9	10.7	17.4	12.9	13.5	15.3
		5. とても余っている	8.3	7.8	8.8	9.5	8.9	6.4
⑦	いくらほしいか	1. ~300円	6.5	5.6	7.2	12.2	5.5	2.3
		2. 400円~500円	16.5	14.8	18.5	27.7	15.9	7.5
		3. 600円~1,000円	33.6	33.8	34.2	31.1	34.9	35.4
		4. 1,100円~2,000円	24.7	24.8	24.9	17.1	25.5	30.9
		5. 2,100円~3,000円	8.5	8.3	8.6	5.3	7.9	12.0
		6. 3,100円~5,000円	6.3	6.3	5.4	3.0	5.4	8.9
		7. 5,100円~10,000円	3.2	5.1	1.2	2.8	3.9	2.8
		8. 10,100円~	0.7	1.3	0	0.8	1.0	0.2
⑧	もう少しほしい	1. ぜったいいけない	27.0	31.6	22.2	33.7	28.0	20.1
		2. きちんとした理由があればくれる	51.7	45.6	58.0	44.4	50.0	60.0
		3. 翌月の分から引かれる	12.8	15.3	10.1	11.9	13.8	12.2
		4. たのめばいつでもすぐくれる	8.5	7.5	9.7	10.0	8.2	7.7
⑨	飲むもの	1. ぜんぜん買わない	20.3	19.2	21.6	20.4	20.7	19.8
		2. たまに買う	39.1	39.2	38.8	40.6	36.0	41.6
		3. とときき買う	20.1	18.1	22.1	21.4	21.0	17.7
		4. わりと買う	13.2	13.5	12.9	12.2	13.8	13.3
		5. しょっちゅう買う	7.3	10.0	4.6	5.4	8.5	7.6

質問項目	全体	性別		学年別			
		男子	女子	4年	5年	6年	
1. まんがの本	1. ぜんぜん買わない	37.4	32.9	42.1	42.4	37.9	32.3
	2. たまに買う	32.6	33.8	31.4	32.2	33.7	31.6
	3. ときどき買う	15.4	17.3	13.3	14.1	15.4	16.5
	4. わりと買う	8.4	8.5	8.4	6.0	8.6	10.3
	5. しょっちゅう買う	6.2	7.5	4.8	5.3	4.4	9.3
2. 物語の本	1. ぜんぜん買わない	53.9	57.8	49.9	56.7	47.7	59.1
	2. たまに買う	28.7	29.0	28.3	25.5	31.2	28.3
	3. ときどき買う	10.2	7.7	12.8	11.1	11.6	7.8
	4. わりと買う	5.5	4.1	7.0	5.2	7.0	3.9
	5. しょっちゅう買う	1.7	1.4	2.0	1.5	2.5	0.9
3. おもちゃやゲーム	1. ぜんぜん買わない	57.6	41.6	74.5	57.7	59.6	55.0
	2. たまに買う	28.3	35.4	20.7	29.7	27.1	28.4
	3. ときどき買う	8.2	12.5	3.7	7.3	7.9	9.5
	4. わりと買う	4.0	6.9	1.0	3.4	2.6	6.2
	5. しょっちゅう買う	1.9	3.6	0.1	1.9	2.8	0.9
4. フォト・鉛筆などの文具	1. ぜんぜん買わない	17.0	22.2	11.6	16.1	16.3	18.7
	2. たまに買う	29.2	32.5	25.9	28.2	27.0	33.1
	3. ときどき買う	26.0	24.3	27.8	30.3	25.3	22.9
	4. わりと買う	20.2	16.3	24.2	19.6	21.4	19.2
	5. しょっちゅう買う	7.6	4.7	10.5	5.8	10.0	6.1
5. 自分の着るもの	1. ぜんぜん買わない	82.4	84.4	80.4	80.2	82.3	84.7
	2. たまに買う	10.1	10.0	10.2	11.4	10.6	8.4
	3. ときどき買う	4.2	2.8	5.7	4.1	4.3	4.1
	4. わりと買う	2.5	2.0	3.0	3.6	1.9	2.2
	5. しょっちゅう買う	0.8	0.8	0.7	0.7	0.9	0.6
6. 映画や遊園地などで使うもの	1. ぜんぜん買わない	71.4	67.6	75.4	76.9	71.3	66.4
	2. たまに買う	18.7	20.1	17.1	15.5	20.3	19.5
	3. ときどき買う	6.3	7.2	5.4	4.6	5.6	8.8
	4. わりと買う	2.8	3.8	1.8	1.5	2.1	4.9
	5. しょっちゅう買う	0.8	1.3	0.3	1.5	0.7	0.4
7. 記自分の趣味のもの	1. ぜんぜん買わない	59.8	54.1	65.9	68.7	58.9	53.5
	2. たまに買う	18.8	18.3	19.4	16.4	16.9	23.3
	3. ときどき買う	9.8	11.5	7.9	6.1	10.9	11.5
	4. わりと買う	7.5	9.5	5.4	4.9	9.0	7.9
	5. しょっちゅう買う	4.1	6.6	1.4	3.9	4.3	3.8
8. 参考書やドリル	1. ぜんぜん買わない	64.6	64.4	64.9	70.6	61.6	63.2
	2. たまに買う	23.7	24.8	22.6	16.8	26.7	26.0
	3. ときどき買う	7.3	6.5	8.1	7.2	7.3	7.3
	4. わりと買う	3.0	2.8	3.1	3.7	2.8	2.6
	5. しょっちゅう買う	1.4	1.5	1.3	1.7	1.6	0.9
9. カメラ	1. 持っている	14.8	21.8	7.4	9.8	15.6	18.4
	2. 持っていない	85.2	78.2	92.6	90.2	84.4	81.6
10. 持ちもの	1. 持っている	97.0	97.1	96.8	96.2	97.1	97.5
	2. 持っていない	3.0	2.9	3.2	3.8	2.9	2.5
11. カラゼン	1. 持っている	83.5	80.1	87.1	78.2	84.6	87.0
	2. 持っていない	16.5	19.9	12.9	21.8	15.4	13.0
12. 自室	1. 持っている	69.6	71.8	67.2	68.3	65.7	75.6
	2. 持っていない	30.4	28.2	32.8	31.7	34.3	24.4
13. カラゼン	1. 持っている	30.0	33.3	26.6	18.2	28.2	43.2
	2. 持っていない	70.0	66.7	73.4	81.8	71.8	56.8

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	4 年 生	5 年 生	6 年 生	
10	本の箱	1. 持っている	86.3	86.2	86.4	82.3	86.8	89.2
		2. 持っていない	13.7	13.8	13.6	17.7	13.2	10.8
	学習	1. 持っている	77.5	79.9	74.9	67.0	80.8	82.9
		2. 持っていない	22.5	20.1	25.1	33.0	19.2	17.1
	テレビ	1. 持っている	19.4	21.8	16.8	17.2	20.9	19.5
		2. 持っていない	80.6	78.2	83.2	82.8	79.1	80.5
	遊具	1. 持っている	19.3	26.6	11.5	17.1	20.0	20.5
		2. 持っていない	80.7	73.4	88.5	82.9	80.0	79.5
	ゲームソフト	1. 持っている	73.6	82.0	64.6	71.3	74.2	74.9
		2. 持っていない	26.4	18.0	35.4	28.7	25.8	25.1
通帳	1. 持っていない	40.8	38.2	43.5	40.4	41.3	30.4	
	2. 持っている	59.2	61.8	56.5	59.6	58.7	69.6	
11	自分の貯金額	1. ~10,000円	6.4	6.0	7.0	4.9	8.3	6.0
		2. 11,000円~30,000円	13.8	14.4	13.1	13.8	13.4	14.3
		3. 31,000円~50,000円	14.5	14.1	14.5	15.9	15.1	12.9
		4. 51,000円~100,000円	26.7	26.8	28.4	29.7	27.3	24.9
		5. 101,000円~300,000円	29.6	29.1	29.8	25.0	27.0	32.8
		6. 301,000円~500,000円	3.9	4.6	3.1	4.2	3.8	4.5
		7. 501,000円~	5.1	5.0	4.1	6.5	5.1	4.6
12	貯金を使った経験	1. ない	85.9	82.6	89.6	88.4	85.7	84.2
		2. 1、2度ある	11.7	14.2	8.9	10.5	12.2	11.9
		3. ときどきある	2.1	2.6	1.5	0.9	2.1	3.1
		4. よくおろして使う	0.3	0.6	0	0.2	0	0.8
13	お金の使い方	1. 5円くらい	33.4	35.6	31.0	46.6	29.9	26.7
		2. 10円くらい	14.6	14.4	14.8	16.0	15.9	11.9
		3. 30円くらい	16.4	14.3	18.6	13.4	18.7	16.0
		4. 50円くらい	18.5	17.9	19.0	14.9	17.5	22.6
		5. 100円くらい	12.2	11.7	12.7	6.5	12.4	16.7
		6. 300円くらい	2.6	3.4	1.9	0.8	3.0	3.7
		7. 500円くらい	2.3	2.7	2.0	1.8	2.6	2.4
14	お金の使い方	1. 100円くらいもらえる	48.2	50.6	45.7	57.4	52.1	35.6
		2. 200~300円くらいもらえる	29.7	28.1	31.4	24.4	26.8	37.8
		3. 400~500円くらいもらえる	15.4	14.1	13.1	11.6	14.6	19.5
		4. 600円以上もらえる	6.7	7.2	9.8	6.6	6.5	7.1
15	お金の使い方	1. そのままにしておく	32.4	31.7	33.1	23.5	32.1	40.9
		2. 拾って自分のものにする	22.1	26.3	17.7	14.2	25.1	25.8
		3. 拾って母親に預ける	22.1	19.6	24.7	26.5	21.6	18.6
		4. 拾って警察に届ける	23.4	22.4	24.5	35.8	21.2	14.7
	お金の使い方	1. そのままにしておく	27.5	28.0	27.0	18.8	27.7	35.2
		2. 拾って自分のものにする	23.2	27.2	18.9	14.3	26.2	27.5
		3. 拾って母親に預ける	23.4	20.7	26.3	28.0	22.3	20.7
		4. 拾って警察に届ける	25.9	24.1	27.8	38.9	23.8	16.6
	お金の使い方	1. そのままにしておく	16.6	15.7	17.6	14.7	17.9	16.7
		2. 拾って自分のものにする	33.5	40.1	26.4	20.9	34.7	43.5
		3. 拾って母親に預ける	23.6	20.4	27.0	28.2	22.9	20.2
		4. 拾って警察に届ける	26.3	23.8	29.0	36.2	24.5	19.6
	お金の使い方	1. そのままにしておく	7.4	6.4	8.5	8.7	7.4	6.4
		2. 拾って自分のものにする	38.8	46.9	30.0	23.8	39.9	50.7
		3. 拾って母親に預ける	22.6	18.8	26.8	27.1	21.8	19.7
		4. 拾って警察に届ける	31.2	27.9	34.7	40.4	30.9	23.2

質問項目		全 体	性 別		学 年 別					
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年			
15	お 金 が 落 ち て い た ら	1. そのままにしておく	3.8	2.8	4.8	3.5	4.0	3.7		
		2. 拾って自分のものにする	37.0	44.6	28.8	24.8	35.6	50.0		
		3. 拾って母親に預ける	21.2	17.6	25.0	24.4	23.2	15.6		
		4. 拾って警察に届ける	38.0	35.0	41.4	47.3	37.2	30.7		
	百 円 玉	1. そのままにしておく	2.0	1.4	2.6	2.0	1.9	2.0		
		2. 拾って自分のものにする	25.3	32.6	17.4	16.4	24.8	34.1		
		3. 拾って母親に預ける	18.0	16.1	20.0	19.9	17.8	16.3		
		4. 拾って警察に届ける	54.7	49.9	60.0	61.7	55.5	47.6		
	五 百 円 玉	1. そのままにしておく	1.7	0.9	2.5	1.1	1.9	1.8		
		2. 拾って自分のものにする	16.5	23.1	9.4	11.8	15.4	22.3		
		3. 拾って母親に預ける	12.2	11.1	13.4	15.1	11.0	11.0		
		4. 拾って警察に届ける	69.6	64.9	74.7	72.0	71.7	64.9		
	千 円 札	1. そのままにしておく	1.5	0.7	2.4	0.9	1.9	1.6		
		2. 拾って自分のものにする	13.9	20.2	7.0	10.0	13.4	18.0		
		3. 拾って母親に預ける	10.8	9.7	11.9	14.8	8.8	9.6		
		4. 拾って警察に届ける	73.8	69.4	78.7	74.3	75.9	70.8		
五 千 円 札	1. ～500円	18.5	13.3	23.9	35.4	16.8	4.5			
	2. 600円～1,000円	18.8	16.3	21.4	22.8	16.7	15.2			
	3. 1,100円～3,000円	22.1	17.6	26.4	13.9	22.7	21.6			
	4. 3,100円～5,000円	11.1	9.9	12.7	8.6	10.4	13.8			
16	も の の 値 段	5. 5,100円～10,000円	17.2	22.8	10.7	11.2	18.5	20.9		
		6. 10,100円～50,000円	10.3	18.3	4.1	7.3	13.7	21.3		
		7. 50,100円～	2.0	1.8	0.8	0.8	1.2	2.7		
カ		メ	ラ	1. ～10,000円	4.3	4.9	3.6	3.8	4.3	2.2
				2. 11,000円～30,000円	37.5	35.9	39.2	40.8	38.1	33.2
				3. 31,000円～50,000円	26.4	28.4	24.6	22.0	25.3	31.9
				4. 51,000円～100,000円	22.0	23.4	22.9	20.0	26.4	22.8
	5. 101,000円～			9.8	7.4	9.7	13.4	5.9	9.9	
テ	レ	ビ	1. ～50,000円	11.9	12.3	11.2	12.7	12.7	9.4	
			2. 51,000円～100,000円	26.0	26.7	24.5	19.2	24.0	28.4	
			3. 101,000円～150,000円	26.2	23.7	28.4	26.2	27.5	24.1	
			4. 151,000円～200,000円	12.6	12.6	11.7	9.0	14.0	13.6	
			5. 201,000円～	23.3	24.7	24.2	32.9	21.8	24.5	
17	の	子	1. 10万円未満	12.5	11.7	13.5	15.9	12.3	9.6	
			2. 10万円～14万円	25.4	26.7	24.3	25.1	24.2	27.6	
			3. 15万円～19万円	17.4	17.8	18.3	16.1	18.4	17.7	
			4. 20万円～29万円	19.3	20.5	18.2	14.6	20.1	21.9	
			5. 30万円以上	25.4	23.3	25.7	28.3	25.0	23.2	
想	の	家	1. 10万円未満	15.0	15.5	14.4	20.0	12.9	13.1	
			2. 10万円～14万円	16.4	15.0	17.9	17.6	16.0	15.8	
			3. 15万円～19万円	11.7	12.0	11.3	8.9	13.4	11.9	
			4. 20万円～29万円	21.8	22.9	20.7	16.2	22.9	25.4	
			5. 30万円以上	35.1	34.6	35.7	37.3	34.8	33.8	
自	動	車	1. 49万円以下	17.3	12.4	21.9	22.6	16.8	11.9	
			2. 50万円～98万円	21.0	18.3	23.0	21.4	20.2	20.9	
			3. 99万円以上	61.7	69.3	55.1	56.0	63.0	67.2	
の	家	の	1. 98万円以下	6.6	4.3	8.5	10.4	5.8	3.6	
			2. 99万円以上	93.4	95.7	91.5	89.6	94.2	96.4	

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目	全 体	性 別		学 年 別			
		男 子	女 子	4 年	5 年	6 年	
18 1ヶ月の生活費	1. 10万円未満	31.4	34.6	33.4	39.9	33.6	18.7
	2. 10万円～20万円	28.3	27.0	31.4	29.3	31.5	31.0
	3. 20万円～30万円	18.3	17.3	16.7	14.3	14.7	24.6
	4. 30万円～50万円	13.1	12.2	11.7	7.2	12.4	17.9
	5. 50万円以上	8.9	8.9	6.8	9.3	7.8	7.8
19 家の貯金 貯金だけか 貯金と何らかの 貯蓄を併せて しているか	1. ぜんぜんない	1.5	1.5	1.5	2.3	1.3	1.0
	2. あると思う	98.5	98.5	98.5	97.7	98.7	99.0
	1. 10日ぐらい	4.5	4.4	4.7	7.9	4.1	1.9
	2. 半月ぐらい	6.4	7.1	5.7	8.6	4.4	6.8
	3. 1ヵ月ぐらい	12.5	13.5	11.5	15.2	13.1	9.3
	4. 2～3ヵ月ぐらい	22.1	20.5	23.5	22.3	24.8	18.5
	5. 半年ぐらい	21.2	20.4	22.1	21.1	20.5	22.3
	6. 1年ぐらい	10.7	11.2	10.2	7.9	9.8	14.4
	7. 2～3年ぐらい	12.2	11.7	12.7	10.4	12.5	13.4
	8. 5年ぐらい	6.6	6.4	6.8	4.1	6.1	9.6
9. 10年以上	3.8	4.8	2.8	2.5	4.7	3.8	
20 家は金持ちか	1. とても金持ち	3.4	4.0	2.8	4.0	4.3	1.9
	2. わりと金持ち	13.6	15.0	12.0	13.7	13.6	13.5
	3. ふつう	69.3	66.0	72.8	69.9	67.1	71.1
	4. あまり金持ちではない	10.6	11.6	9.6	9.9	10.6	11.4
	5. ぜんぜん金持ちではない	3.1	3.4	2.8	2.5	4.4	2.1
21 自動車を持つ	1. きっとできる	46.5	58.2	33.9	47.1	45.4	47.5
	2. たぶんできる	39.4	34.0	45.2	36.9	39.8	41.1
	3. すこし無理	10.7	5.9	15.8	12.9	11.3	7.9
	4. とても無理	3.4	1.9	5.1	3.1	3.5	3.5
21 家にクーラー	1. きっとできる	55.1	58.4	51.4	54.7	54.7	56.2
	2. たぶんできる	36.2	33.5	39.2	35.0	36.6	36.7
	3. すこし無理	6.3	5.7	7.0	6.7	6.8	5.3
	4. とても無理	2.4	2.4	2.4	3.6	1.9	1.8
21 家にビデオ	1. きっとできる	31.7	20.6	43.5	32.6	33.7	28.5
	2. たぶんできる	34.9	35.2	34.6	38.1	30.2	37.7
	3. すこし無理	23.7	29.6	17.4	20.8	26.1	23.3
	4. とても無理	9.7	14.6	4.5	8.5	10.0	10.5
21 家族旅行 年に1回以上	1. きっとできる	39.7	42.0	37.3	36.9	39.0	43.4
	2. たぶんできる	38.4	36.6	40.4	36.6	39.4	38.8
	3. すこし無理	16.5	15.8	17.1	20.0	16.3	13.3
	4. とても無理	5.4	5.6	5.2	6.5	5.3	4.5
21 大きな家に住む	1. きっとできる	12.0	15.6	8.1	11.0	13.5	10.8
	2. たぶんできる	31.3	30.9	31.7	35.1	28.8	30.9
	3. すこし無理	42.0	37.4	46.9	39.5	44.2	41.7
	4. とても無理	14.7	16.1	13.3	14.4	13.5	16.6
21 海外旅行 数年に1度	1. きっとできる	13.2	15.3	10.8	13.1	14.4	11.7
	2. たぶんできる	24.2	23.2	25.2	27.8	23.5	21.7
	3. すこし無理	33.9	31.3	36.8	30.9	36.2	33.9
	4. とても無理	28.7	30.2	27.2	28.2	25.9	32.7
22 友だちにお金を貸す	1. 貸さない	86.4	86.4	86.4	91.8	88.0	79.3
	2. しつこく頼まれたら貸す	10.1	10.4	9.8	6.2	8.5	15.8
	3. すぐに貸す	3.5	3.2	3.8	2.0	3.5	4.9
22 友達にお金を貸す	1. 貸さない	63.1	64.3	61.8	76.3	63.5	50.3
	2. しつこく頼まれたら貸す	24.1	23.0	25.3	15.5	25.1	30.8
	3. すぐに貸す	12.8	12.7	12.9	8.2	11.4	18.9

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目	全体	性別		学年別			
		男子	女子	4年	5年	6年	
1. 貸さない 2. しつこく頼まれれば貸す 3. すぐに貸す	69.8	70.1	69.6	80.8	72.6	56.1	
	19.4	19.3	19.4	10.5	19.5	27.4	
	10.8	10.6	11.0	8.7	7.9	16.5	
22. もらな らなく てもよ いから 貸して く	1. 貸してあげたくない	33.8	34.7	32.8	47.2	36.8	17.4
	2. 50円くらいならよい	25.7	26.6	24.8	26.4	27.1	23.3
	3. 100円くらいならよい	33.8	32.0	35.8	23.6	30.1	48.2
	4. 500円くらいならよい	6.2	5.7	6.6	2.4	5.5	10.5
	5. 1,000円以上でもよい	0.5	1.0	0	0.4	0.5	0.6
22. もらな らなく 借りて く	1. 借りるのはよくない	49.1	49.0	49.1	64.2	51.3	32.5
	2. 50円くらいならよい	20.3	19.0	21.7	18.7	21.7	19.8
	3. 100円くらいならよい	24.7	23.7	25.8	12.7	22.1	39.1
	4. 500円くらいならよい	4.1	5.1	3.1	2.0	3.1	7.4
	5. 1,000円以上でもよい	1.8	3.2	0.3	2.4	1.8	1.2
22. 借り てある とき 返さ ない とま だま	1. どんなに少なくとも返してもらおう	53.3	52.9	53.7	65.3	51.6	44.4
	2. 10円くらいならだまっている	22.5	21.8	23.3	19.0	23.8	24.2
	3. 50円くらいならだまっている	13.0	13.0	13.0	8.2	13.4	17.0
	4. 100円くらいならだまっている	9.0	8.7	9.3	5.1	9.3	12.1
	5. 300円以上でもだまっている	2.2	3.6	0.7	2.4	1.9	2.3
23. たま ごを 買っ たあ た まご を 見せ ない とま だま	1. いつもいう	13.7	16.4	10.7	15.2	15.1	10.5
	2. ときどきいう	21.3	23.7	18.8	23.6	19.5	21.6
	3. たまにいう	20.9	20.3	21.6	21.9	20.3	20.8
	4. あまりいわない	22.4	18.8	26.2	16.3	23.0	27.1
	5. ぜんぜんいわない	21.7	20.8	22.7	23.0	22.1	20.0
23. たま ごを 買っ たあ た まご を 見せ ない とま だま	1. いつもいう	28.4	30.9	25.4	34.2	28.2	23.0
	2. ときどきいう	19.0	18.9	19.2	16.3	20.1	20.2
	3. たまにいう	16.6	17.1	16.1	14.5	16.0	19.3
	4. あまりいわない	20.0	17.0	23.3	17.4	18.1	24.9
	5. ぜんぜんいわない	16.0	16.1	16.0	17.6	17.6	12.6
23. たま ごを 買っ たあ た まご を 見せ ない とま だま	1. いつもいう	10.5	10.5	10.5	11.3	11.9	8.0
	2. ときどきいう	9.7	8.0	11.5	10.2	9.8	9.0
	3. たまにいう	11.4	11.7	11.1	11.8	11.1	11.5
	4. あまりいわない	22.7	19.3	26.3	20.2	23.6	23.7
	5. ぜんぜんいわない	45.7	50.5	40.6	46.5	43.6	47.8
23. たま ごを 買っ たあ た まご を 見せ ない とま だま	1. いつもいう	37.9	38.1	37.6	39.4	40.5	33.2
	2. ときどきいう	23.5	23.4	23.6	21.2	22.7	26.6
	3. たまにいう	18.4	17.8	19.1	18.1	17.3	20.0
	4. あまりいわない	10.8	9.2	12.5	11.1	10.3	11.2
	5. ぜんぜんいわない	9.4	11.5	7.2	10.2	9.2	9.0
23. たま ごを 買っ たあ た まご を 見せ ない とま だま	1. いつもいう	48.8	50.4	47.0	46.8	51.8	46.8
	2. ときどきいう	16.2	16.7	15.7	16.1	15.5	17.2
	3. たまにいう	13.3	13.7	13.0	12.1	14.2	13.3
	4. あまりいわない	10.1	8.2	12.0	11.4	7.2	12.5
	5. ぜんぜんいわない	11.6	11.0	12.3	13.6	11.3	10.2
23. たま ごを 買っ たあ た まご を 見せ ない とま だま	1. いつもいう	17.0	16.3	17.7	16.6	16.7	17.7
	2. ときどきいう	10.6	9.9	11.4	9.9	11.5	10.3
	3. たまにいう	8.1	7.3	9.0	8.1	6.4	10.3
	4. あまりいわない	14.9	13.0	16.8	11.2	15.1	17.9
	5. ぜんぜんいわない	49.4	53.5	45.1	54.2	50.3	43.8

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	4 年 生	5 年 生	6 年 生	
23 入にお金を借りてはいいけません(計画的に使います)	1. いつもいう	47.2	49.8	44.6	53.0	48.7	40.2	
	2. ときどきいう	17.5	17.1	17.9	12.5	16.8	23.0	
	3. たまにいう	12.5	11.4	13.6	11.8	11.9	13.7	
	4. あまりいわない	11.1	9.2	13.1	9.6	10.3	13.5	
	5. ぜんぜんいわない	11.7	12.5	10.8	13.1	12.3	9.6	
	1. いつもいう	17.4	17.1	17.7	21.7	18.3	12.2	
	2. ときどきいう	18.5	19.7	17.2	17.2	16.7	21.9	
	3. たまにいう	14.5	14.7	14.3	15.7	14.7	13.2	
	4. あまりいわない	18.8	18.0	19.6	16.6	17.2	22.7	
	5. ぜんぜんいわない	30.8	30.5	31.2	28.8	33.1	30.0	
	1. いつもいう	25.5	26.1	24.5	27.5	25.0	23.9	
	2. ときどきいう	18.7	20.0	17.4	17.1	18.1	21.1	
	3. たまにいう	17.1	15.8	18.6	16.6	17.3	17.4	
	4. あまりいわない	16.7	15.0	18.6	13.3	17.6	18.8	
	5. ぜんぜんいわない	22.0	23.1	20.9	25.5	22.0	18.8	
24 買い物をするとき(母親)	1. いつもいう	18.6	19.3	18.0	21.4	20.7	13.5	
	2. ときどきいう	15.7	16.5	14.8	14.3	15.6	17.0	
	3. たまにいう	15.3	16.1	14.5	13.8	14.5	17.8	
	4. あまりいわない	15.9	15.1	16.8	14.5	15.6	17.6	
	5. ぜんぜんいわない	34.5	33.0	35.9	36.0	33.6	34.1	
	母親の就業	1. 専業主婦	20.8	20.3	21.4	21.2	19.9	21.7
		2. 家業の手伝い	11.0	11.4	10.6	11.6	10.0	11.8
		3. 家で仕事	26.2	26.6	25.7	29.9	24.8	24.5
		4. パート	14.2	13.3	15.1	12.3	14.1	15.9
		5. フルタイム	11.2	11.8	10.5	8.9	13.1	10.8
		6. その他	16.6	16.6	16.7	16.1	18.1	15.3